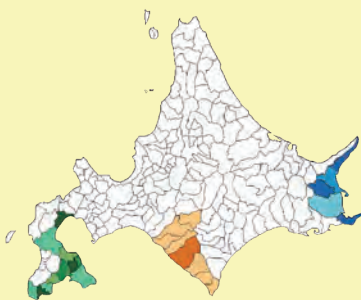


北海道の市と町と村を ご紹介

文中の URL 部分をクリック
すると WEB が開きます



歴史・観光・食の翻



北方領土返還運動

を行っています

国土地理院電子地図より

えとろふ 択捉島

くなしり 国後島

しこたん 色丹島

はぼまい 歯舞諸島

色丹島 2015年8月

バッジ頒布について
-1週間程度で発送します-

北方領土返還運動推進バッジ

- 「ブラウリボン」バッジ
- 「千島桜」バッジ

早期実現北海道新幹線バッジ

新幹線早期実現

バッジお申込方法 (QRコードを読んでください)

バッジ1組1,000円(1種類ごと4個一組)
1組ごとに、バッジの種類を明記のうえ、「1,000円分の切手」と「返信先を記入した120円切手を貼った返信封筒」を同封の上、下記住所へ郵送して下さい。(1組毎に返信用封筒が必要です。)

北海道倶楽部とは

北海道倶楽部は、昭和2年に新渡戸稲造博士等によって東京に設立された公益社団法人です。
北海道の健全な発展に寄与することを目的とし、北海道等のための広報活動、地域活性化事業の支援、北方領土返還運動、ふるさと納税等寄附の推進運動、北海道新幹線早期実現運動などの事業を行っています。

公益社団法人 北海道倶楽部

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17番17号 北海道東京事務所1階
TEL03-3581-4021 FAX03-3581-4022 <http://www.hokkaido-c.or.jp> hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp



北海道の市と町と村を ご紹介

目次

北海道
日高総合振興局
北海道
根室振興局

しん
新ひだか町のご紹介..... 1

ねむろ
根室市のご紹介..... 5

べつかい
別海町のご紹介..... 9

なかしべつ
中標津町のご紹介..... 13

しべつ
標津町のご紹介..... 17

らうす
羅臼町のご紹介..... 21

北海道
渡島総合振興局

はこだて
函館市のご紹介..... 25

ほくと
北斗市のご紹介..... 29

まつまえ
松前町のご紹介..... 33

ふくしま
福島町のご紹介..... 37

しりうち
知内町のご紹介..... 41

きこない
木古内町のご紹介..... 45

しかべ
鹿部町のご紹介..... 49

ななえ
七飯町のご紹介..... 53

もり
森町のご紹介..... 57

やくも
八雲町のご紹介..... 61

おしやまんべ
長万部町のご紹介..... 65

えさし
江差町のご紹介..... 69

かみのくに
上ノ国町のご紹介..... 73

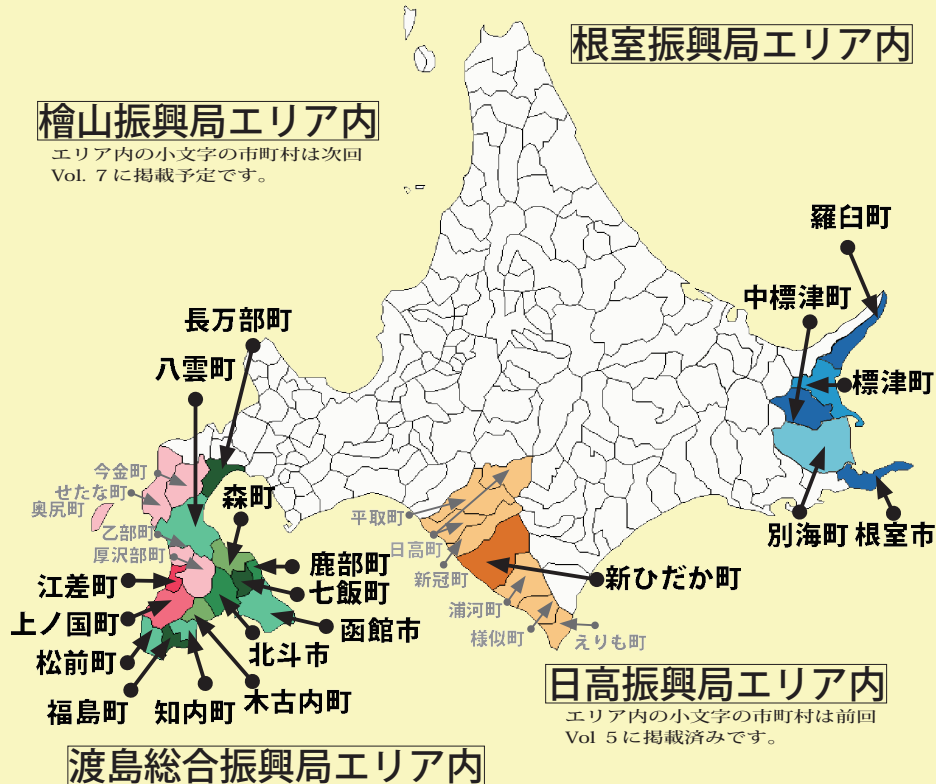
北海道
檜山振興局

公益益社団法人北海道倶楽部のご紹介 ... 77

北海道倶楽部の入会申込書 78

掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性が
あります

2024年北海道“NOW” 掲載の19市町村



この冊子「北海道の市と町と村を
ご紹介」は北海道情報紙の北海道倶
楽部・北海道“NOW”（2024年12
月号）の別冊として刊行しました。
今回掲載したまちは、北海道
“NOW”の2024年1月～12月（2月は
休刊）に掲載した19市町村のご紹
介をすべて再録したものです。なお
、再録に当たり情報を一部更新しま
した。

北海道開拓の歴史などに関しても
記され、食や観光のみならず興味深
い内容が含まれております。
記事は、北海道及び掲載市町村の
方のお世話になっております。御礼
申し上げます。有り難うございま
した。

公益社団法人北海道倶楽部

2024年12月1日

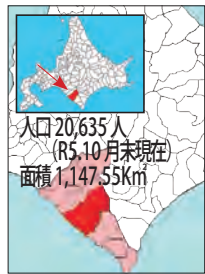
色丹島 2015年8月



新ひだか町のご紹介

新ひだか町とは

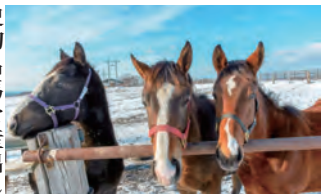
概要



一年を通して過ごしやすく四季折々の風情が味わえます。

産業

日高山脈の麓に広がる大きな大地に恵まれている新ひだか町の「農業」は、国内有数の生産頭数を誇る軽種馬(けいしゅば)をはじめ、水稲、ミニトマト、涼しげな花を咲かせるデルフィニウム、黒毛和牛、乳牛の飼育が盛んです。中でも明治開拓期より続く軽種馬産業は、明治時代の軍馬資質向上に向けた牧場の整備から始まり、第二次大戦後、軍馬や農用馬の役割が後退していく中で、競走馬の需要の高まりに伴い、軽種馬生産へと転換する動きが高まっていくことになりました。温暖で雪も少なく、軽種馬生産に適した土地柄



は、国内、カレイなどさまざまな種類の海産物が獲れる「漁業」も盛んなまちです。近年、道内でも水揚げされるようになったブリは、新ひだか町でも顕著に水揚量を伸ばしており、新たなブランド作りを目指して販路拡大に向けた取り組みが行われています。中でも全国ブランド「日高昆布 標準和名・ミツイシコンブ」は、100年以上も変わらず受け継がれてきた製法により極上の品質を守り続けています。玉砂利の浜で太陽の光を浴び、浜風にゆりじつくりと旨味が凝縮された日高昆布は、その品質の高さから全国的にも知名度を得ており、関東・関西の料亭や専門店などに広く出荷されています。

イベント情報

・しずない桜まつり

桜の開花時期に合わせて、例年4月下旬から5月上旬に開催され、二十間道路桜並木を会場に2000本を超える桜が直線7kmにわたって咲き誇ります。会場では期間限定のお土産や旬の味覚など新ひだか町の春を堪能できます。また、普段は入ることができない龍雲閣(りゅううんかく)は期間中のみ見学可能です。また、二十間道路は季節ごとに違った風景を楽しむことができますので、ぜひ一度訪れてみてください。



町の取り組み

○暮らしやすいまち・増える移住者

「涼夏少雪の郷(りょうかしようせつ)のさと」新ひだか町は、新千歳空港や苫小牧フェリーターミナルから1時間半ほどというアクセスの良さや、日高山脈や太平洋に抱かれた温暖で自然豊かなまちであると共に、日高地方の商業中心地であり、暮らしにちょうど良い町として、全国からの移住者が増えています。町では、10戸の移住体験住宅を用意し、移住コンシェルジュが移住に向けたサポートをしています。

地の人づくり事業「ひだかうまキッズ探検隊」に取り組んでいます。毎年20人ほどの小学生が生産牧場をはじめ、多くの馬関連施設を見学する体験学習を行っています。また、令和5年10月には、馬つくしのイベント「うまカルフェスin新ひだか」をHBA北海道市場で初開催し、全国から多くの馬ファンでにぎわいます。

○「静農ブランド」の開発促進

豊かな自然環境は、豊かな食を育みます。新ひだか町では、令和4年度より、地元の静内農業高校の生徒たちと各産業界、事業者

などと連携し「静農ブランド開発促進プロジェクト」を進められています。

○ふるさと納税(寄附)

新ひだか町では、毎年、全国各地から多くのふるさと応援寄附をいただいています。その寄附は、100年の歴史を誇る町のシンボル「二十間道路桜並木」の保護・保全活動等に活用させていただいています。また、ご寄附に対する感謝の意を込めまして、新ひだか町が誇る逸品を返礼品として用意しています。桜の町、新ひだか町にふさわしい日高沖で獲れた新鮮な「サクラマス」をまるごと一尾、さらには、特産の日高昆布のだしを活かした「牛タン」のほか、ブランド和牛「みつし牛」やジェラート・ケーキなど、海の幸、山の幸からスイーツまで、幅広い特産品を用意しています。ぜひ、新ひだか町への応援をよろしく願っています。



人気の返礼品

○競走馬のふるさと

将来の馬産地を担う子どもたちにまちの歴史・文化・産業を継承するため、馬産立公園化を契機に、新たな



新ひだか町のご紹介

新ひだか町のご紹介

「優駿桜園 涼夏少雪のまち新ひだか町」

観光スポット

○二十間道路の桜並木
並木幅が二十間(約36メートル)あることから、二十間道路と呼ばれる一本道には、春になると直線約7kmにわたり、見事な桜の花々が彩られます。



日本屈指のスキー場を誇る桜並木は、「日本の道100選」や「さくらの名所100選」、「北海道遺産」などにも選ばれており、シーズンになると、毎年10万人を超えるほどの花見客でにぎわいます。咲き誇るほとんどの桜はエ

風が吹いてくるアウトドアフィールド。三石海浜公園は、「道の駅みつしし」、「みつしし昆布温泉蔵三(くらぞう)」、「みつししふれあいビーチ」、「三石海浜公園オートキャンプ場」が隣接し、家族で楽しめる夏の体験スポットとなっています。

三石海浜公園は、芝やビーチの管理が行き届きとてもきれいです。町公式ホームページアクセス数で毎年トップ3に入る人気です。海遊びやアスレチック遊具で楽しんだあとは日帰り入浴もできる温泉で遊び疲れた体をゆつくりと癒すことができます。キャンプ以外に温泉にはレストランやホテルも併設しているた

インは、落ち着いた雰囲気とくつろぎの空間。宿泊施設や新鮮な地元のを味わえるレストランが併設されています。

などが行われ、毎回、多くの家族連れなどにぎわいます。

の情報を提供し、サポートしている



○町民保養施設「静内温泉」
2013年にリニューアルした木漏れ日にただす温泉施設。天井が高く開放感あるロビーが迎え、茶褐色の柔らかいお湯は肌をつるの美肌にし、ラルウンジが心と見学はできませ



体のやすらぎの時間をあたえます。また、隣接する「緑のふるさと温泉の森キャンプ場」は、川遊びや紅葉狩りなどを楽しみながら、ゆつくりとした時間を過ごすことができます。ソロキヤ

○牧場の見学

○蓬萊山(ほうらいさん)
三石川の緩やかな流れが織りなす清澄な風景は、古代中国における三神山の一つ「蓬萊山」を連想させるパワースポット。アイヌ民族の伝説に「カムイ(神)がクジラを切り取り蓬(よもぎ)の串に刺して焼き立てたところ石になった」、「退治した巨大怪物の肉塊が黒く焦げ、すごい音をたてて突き立った」など、さまざまな伝説をまとう奇岩の山。麓にはパークゴ



ゾヤマザクラ。この地にはかつて、宮内省の御料牧場があり、ここを視察するための皇族の行啓道路として、大正5年から3年をかけて近隣の山々から桜の木が移植され、桜並木が作られました。

菜の直売所もあるので、いろいろな海の幸や山の幸を楽しむこともできます。お子さんと安心して一緒に楽しめる三石海浜公園にぜひお越しください。



○みつしし昆布温泉「蔵三(VIAUN)」

二十間道路から牧場に続く脇道には、桜の花が頭上まで覆う「花のトンネル」が300mほど続き、訪れる人々をやさしい彩りで包み込んでいます。心を和ませる桜並木は、まさに新ひだか町の春の風物詩。町では、この風景を大切に守り続けています。



道内から人気の天然温泉施設。三石海浜公園内にある海と緑に囲まれたくつろぎスポット。「蔵三」をモチーフにした施設デザ



車、ニンジンの餌やり体験

町内の牧場では、数々の歴史的な馬が飼養されていますが、競走馬の牧場は観光施設ではないため、許可なく勝手に入ることはできません。牧場の好意により、手続きをすることで見学ができます。そうした見学の可否や時期、時間など



○町のキャラクター紹介

「こんぶマンとこぶねちゃん」

こんぶマンとこぶねちゃんは、町名産のミツイシコンブ(日高昆布)をはじめ、新ひだか町の特産をPRするために誕生した新ひだか町商工会青年部のご当地ゆるキャラです。兄のこんぶマンと妹のこぶねちゃんの2人で、町内外、多岐にわたり活動中です。



最近ではLINEスタンプの販売やインスタグラムを活用したキャンペーンなどの取り組みも行い、新ひだか町のPRに奔走中です。

新ひだか町のご紹介

日高山脈の麓に広がる大地を駆け抜けていき、太平洋を見渡せばどこまでも広がる水平線から心地よい

市町村から

◎根室の代表的な味覚サ
ンマ

さんまは、日本の代表的な秋の食材として親しまれています。根室はさんまの水揚げが日本一で、漁期の始まりが初秋の8月です。根室沖合いの道東海域に姿を現し、漁獲され港は連日賑わいます。道東根室の脂の乗ったさんまは、秋の主役です。



◎根室の味覚の王様花咲
ガニ



花咲ガニは、北海道東部にしか生息しておらず、主に根室半島でしか獲れない希少なガニです。獲れたての花咲ガニの色は茶色ですが、茹で上がると真っ赤になり、身ばなれば抜群で身がととも柔らかく独特の旨味が凝縮されています。また、出汁がたっぷり出るの

で、季節の野菜と味噌を入れた「鉄砲汁」や「雑炊」などは一度食べるとやみつきになります。

◎ご当地グルメ

「漁師が早く食べられて、ある程度ボリュームのあるメニュー」として作られた水産都市根室ならではの独自のメニューが「エスカロップ」です。その他、オリエンタルライスやスタミナライスなど聞いたことのない名前メニューがおすすめ。

◎チシマザクラ

桜前線の終着点と知られている根室。根室市観光協会では毎年桜の咲く季節となる5月に市内の桜の名所である「清隆寺」のチシマザクラを観測し開花状況を発信していましたが、旧根室測候所のチシマザクラを標本木として「開花宣言」、「満開宣言」を発表してい

ます。北方領土由来のチシマザクラを標本木としているのは全国で唯一、根室市だけです。

◎地球探索鉄道花咲線
地球のダイナミズムを感ぜられる、美しく強い路線、それが花咲線です。花咲線という名前は愛称で、北海道一長い鉄道路線「JR根室本線（滝川ー根室）」のうち、釧路と根室を結ぶ135.4



kmの鉄路をそう呼んでいきます。車窓に森林や牧場、太平洋などが展開する風光明媚な路線で、沿線にはラムサール条約登録湿地が位置

移住のサポート

◎子育て支援を積極的にサポート

根室市では、子育て支援が充実しており、2歳児までの保育料半額や3歳児から5歳児までの保育料無償化のほか副食費無償化、また、小学校及び中学校義務教育学校の給食費を完全無償化、18歳以下の医療費無償化など、子育て世代に手厚い支援を行っています。子育て不安解消のため、子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から子育て期（0歳～18歳未満）まで、保健師・保育士等専門スタッフが各種ご相談に対応し、切れ目のない支援を行っています。また、2021年12月にオープンした、天気や季節を気にせず遊べる「子ども向け屋内

遊戯施設ふるさと遊びの広場（愛称）わんぱーく」に写真、は、北海道内最大級のネット遊具も整備されており、子育て世代の交流の場として利用できる施設です。

◎移住体験住宅で「ねむろ暮らし」を満喫

根室市では、当市での生活を手軽に体験できる機会を提供するため、移住体験住宅を整備しています。新型コロナウイルス感染症の影響から、全国的に在宅勤務をはじめとしたテレワークの推進を加速させてお

ける企業も増加しています。根室市の移住体験住宅は、高速インターネットも完備されており、その受け入れ施設としての活用も



可能です。また、避暑地としての快適さから、「少しだけ根室市の暮らしを体験してから移住を考えてみたい」という方にもオススメで、寝具（レンタル可）や消耗品を準備するだけで、手軽に「ねむろ暮らし」を体験することができま

インフラの納税

まちが持続的に発展していくうえで、特に市民からの要望が高い施策の安定的な展開を図るため、寄附金を活用させていただいていきます。具体的な例ですと、先に紹介した子ども向け屋内遊戯施設の建設です。こちらは天候に左右されることなく、子ども達が自由に遊ぶことができることや、子育て世代の交流の場を提供する目的で建設されました。

この他にも、漁業資源増大対策や地域医療の維持・安定化など、市民生活の維持向上に幅広く活用させていただいています。また、子ども未来基金や漁業資源増大対策基金など地方創生関連の9つの基金のほか防災対策基金など4つの基金



『子ども向け屋内遊戯施設ふるさと遊びの広場（愛称）わんぱーく』

「朝日にいちばん近い街 ねむろ」

観光スポット

「原始の自然が残る「ねむろ」

◎春国岱(しゅんくにた) 春国岱は、根室湾と風蓮湖の間に横たわる長さ8km、最大幅1.3kmの細長い島です。周囲を海と湖、干潟に囲まれ、海岸草原、湿原、森林などの多様な環境がひとまとまりになって存在します。野鳥の聖域と言われており、根室を代表する自然の宝庫です。2005年にはラムサール条約に登録され、2010年には東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークにも参加し、湿地や水鳥の生息地の保全を行っています。

330種が観察されています。湖には10数本の河川が流入し、独特の景観をつくりだしています。

野鳥の楽園「ねむろ」

◎バードウォッチングの聖地
約330種の野鳥が観察できる根室は、まさに



野鳥の宝庫です。風蓮湖、春国岱、長節湖などバードウォッチングできる海、森がいたるところにあります。シマフクロウ、オジロワシ、オオワシ、クマガラ、ヒシキイ、タンチョウなど、天然記念物や特別天然記念物に指定されている鳥も数多く、多くの方がバードウォッチングで訪れています。バードウォッチングは、双眼鏡さえあれば初めての方でも簡単に挑戦できます。バードウォッチングのノウハウや野鳥の情報などの詳細は、「春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター」で教えてもらうことができます。

本土最東端果て感の絶景

◎三大秘岬落石岬と灯台
太平洋に突き出した岬、落石岬。散策路を歩けば、自然の南限地として国の天然記念物に指定されている「サカイツツジ」(見頃は6月上旬)に出会えます。一帯はアカエゾマツの林が広がり、湿地には美しい花々、眼下には太平洋の荒波と見所もいっぱいです。



領土・歯舞群島の貝殻島までは、わずか3.7kmです。晴れていれば肉眼でも見ることもできます。また、一面の海には、四季折々の表情があり、夏にはラッコ、冬は流水などといった、ダイナミックかつ幻想的な景観を楽しむことができます。周辺観光施設として、「根室市北方領土資料館」や「望まっつ」と推察されており、国の天然記念物に指定されています。

径は6m。海底火山が噴火すると、その厚いドロドロの溶岩が海中で冷やされまます。この溶岩は今から約600万年前に冷えて固まったと推察されており、国の天然記念物に指定されています。

◎風蓮湖(ふうれんこ)

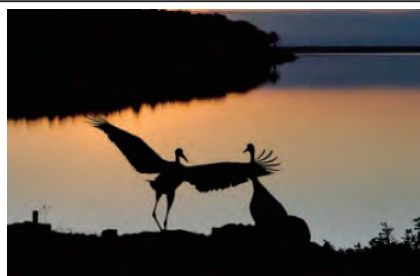
風蓮湖は根室市と別海町にまたがる国内最大級のオオハクチョウの飛来地。湖水面積57・5平方km。周囲96km(砂嘴(さし)で根室湾と隔てられている汽水湖です。風蓮湖はラムサール条約登録湿地であり、湖の周囲には広大な湿原、森林、砂丘など変化に富んだ自然が広がり、日本で見られる野鳥のなんと半分以上、約

野鳥の宝庫です。風蓮湖、春国岱、長節湖などバードウォッチングできる海、森がいたるところにあります。シマフクロウ、オジロワシ、オオワシ、クマガラ、ヒシキイ、タンチョウなど、天然記念物や特別天然記念物に指定されている鳥も数多く、多くの方がバードウォッチングで訪れています。バードウォッチングは、双眼鏡さえあれば初めての方でも簡単に挑戦できます。バードウォッチングのノウハウや野鳥の情報などの詳細は、「春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター」で教えてもらうことができます。

◎朝日に一番近い納沙布岬
本土最東端に位置し、晴れていれば北方領土の島々が眺められる有名な「納沙布岬」です。ここから北方

◎花咲灯台と車石

ここが海底であったことを物語る枕状溶岩の塊が車石です。車輪を思わせるような放射状の玄武岩で、直



自然と動物の距離が近い「ねむろ」

◎北方原生花園
根室市街から納沙布岬に向かう途中、ノツカマツ

根室市へのアクセス

■飛行機・JR・都市間バスでのアクセス



■周辺道路マップ



詳細は根室市観光協会のHPをご覧ください。

URL
nemuro-kankou.com/access/



市町村から

●別海町について

別海町は、北海道の東部、根室管内中心部に位置し、東西61.4km、南北44.3kmに広がる総面積1319.63km²の町です。令和5年12月末現在の人口は、14,200人となっています。東はオホーツク海に面し、根室市、標津町、中標津町、標茶町、厚岸町、浜中町の6市町と接しています。

●別海町の出身者

別海町の出身者としては、2024年に直木賞を受賞された河崎秋子さんやオリンピック選手である森重航選手、新濱立也選手、郷重里砂選手などがいます。

●友好都市について

別海町の友好都市は、大

阪府枚方市であり、昭和62年2月2日に友好都市宣言が締結されました。

枚方市から別海町へ嫁いだ方の働きかけなどにより、酪農家の後継者不足という悩みを抱えていた別海町と枚方市による「菊と緑の会」（酪農青年と都会の女性の交流機会）が始まったことが契機となっていました。

現在においても、行政をはじめ市民各層での交流を続けており、毎年、枚方物産展への参加や「友好都市青少年ふれあいの翼」などを行っています。

●産業の概要

別海町の基幹産業は、酪農業と漁業です。

酪農業については、昭和31年高度酪農集約地域に指定されて以来、第1次・第2次農業構造改善事業が展

開されています。昭和48年から新酪農村建設事業がスタートし、機械や施設の大規模・近代化が進み、名実ともに全国一の酪農王国となっています。

漁業については、ホタテ、秋サケ、ホッキ、アサリ、北海シマエビなどを中心とした沿岸漁業が行われています。ニシンやホタテなどの種苗放流にも力を入れています。

今までの「とる漁業」から「育てる漁業」へ転換を図り、漁獲高を確保し、経営の安定化に努めています。



商工業については、工業は酪農業や漁業関係の工場

が多く、商業は商工会が中心となって各商店が連携しポイントカードの発行や各種イベントを実施するなど、商店街への誘客や販売促進に努めています。

●町のイベント
◇尾岱沼えびまつり
北海シマエビ夏漁が解禁される6月末後に尾岱沼漁港特設会場で開催します。北海シマエビの塩ゆで、旬のあさりの販売をはじめ、抽選に当選すると時間内にエビやあさがりすくい放題の「えび・あさがりすくい抽選会」のほか、野付漁業協同組合青年部・女性部が出店する味覚広場など、別海町の旬の味覚が満載イベントです。

◆産業祭
別海町農村広場で開催される秋の一大イベントで、秋サケの串焼きや水産物販売の水産品をはじめ、牛肉乳製品などの酪農・畜産品の両方味わうことができます。そのほか、馬事競技大会や郷土芸能太鼓演奏なども楽しめます。



◎イベントカレンダー
5月 ホッキ市
6月 尾岱沼潮干狩りフェスティバル
9月 尾岱沼えびまつり
9月 別海町産業祭
10月 別海町パイロットマラソン
西別川あきあじまつり

移住・定住について

●お試し移住（ちょっと暮らし）について

別海町では、町への移住を検討されている方を対象とした「別海町お試し移住住宅」を運営しています。移住に興味はあるけれど、知らない町にいきなり住むことは、不安がたかさんあって、難しいことだと思います。

この「別海町お試し移住住宅」では、さまざまな不安をお持ちの移住希望者さ



お試し移住住宅外観



お試し移住住宅内観

らに、納得して町に移住・定住していただくお手伝いができるよう、別海町の暮らしを「まずは少し」体験していただけます。

●地域おこし協力隊について

別海町では、地域おこし協力隊が実際に別海町に住み、移住・観光・酪農などそれぞれの分野で活動を行っています。

任用方法は、主に雇用型と委託の2つに分かれており、自分に合った働き方を見つけることができます。

移住の新しい手段としても、いかがでしょうか。

地域おこし協力隊noteにてそれぞれの活動を見ることが出来ます。ぜひご覧ください。

●別海ふるさと会

関東地区、札幌近郊には、別海町出身者及び別海町にゆかりがある方が集まり、当町を応援していただいている「東京・別海ふるさと会」「札幌・別海ふるさと会」があります。

両会は、年間をとおして物産展での当町の特産品PR、会員親睦を図るイベント、総会時には別海町民と親睦を深める懇談会などを開催しています。

地域おこし活動
協力隊はこちら
↓

ふるさと納税

このまちを愛し、応援して下さる方々の思いを形にし、個性豊かな活力あるふるさとまちづくりに役立てるため、「別海町ふるさと応援制度」が始まりました。別海町出身ではない方や過去に住んだことがない方でも、「まちの自然を守ってほしい」「家族が住んでいるので、もっとよいまちにしてほしい」など、ふるさとを応援する気持ちがあれば、どなたでも「ふるさと納税」をしていただけます。

◎寄付金の使途
寄付いただいた方には、寄付金の使途をお選びいただくことが可能です。

。酪農・水産等の振興・地場産品開発。子ども子育ての支援・教育の充実。高齢者及び障害者の支援。脱炭素の推進・観光景観の保全。スポーツ・芸術文化の振興発展。健康及び医療の充実。協働のまちづくり・交流移住定住。その他(町長におまかせ)

◎寄付者様へのお礼品

寄付をいただいた町外の方へ感謝と町の魅力を伝えるために、寄付金額に応じて本町の特産品を送付しています。詳しくは、別海町ホームページをご覧ください。

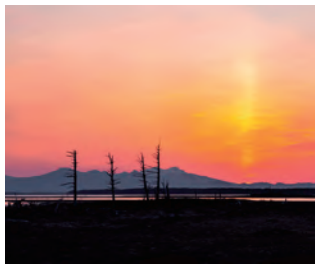


いつでも心に広がるべつかい

観光スポッポット

●野付風蓮道立公園

知床半島と根室半島の中間に位置し、オホーツク海に腕を伸ばすようにして広がるのが野付半島で、約全長26kmの日本最大の砂嘴(さし)です。砂嘴とは、海流により運ばれた砂が、長年に渡って堆積して作られた地形のことです。海流の浸食によってできた複雑に入り組んだ海岸線も、多様な生命を育んでいる要因のひとつです。



また、野付埼灯台を中心とした竜神崎一带に広がる原生花園では、5月下旬から10月までアヤマやセンダイハギなどの色鮮やかな花々が咲きだし

た風景は、自然の摂理を感じさせますが、現在でも浸食が進んでおり、いずれはこの光景が見られなくなるかもしれません。

その中でも、天然記念物に指定されているオジロフシ、タンチョウ、オオワシや希少なアカアシシギ、オオハクチョウなどが飛来し、多くの方を楽しませて

一般の方の立ち入りは禁止されていますので、ご注意ください。

◇野付湾と打瀬舟

野付半島に抱かれるようにして広がる野付湾は、水深が2から5メートルです。比較的浅い湾内の海底にアマモが茂り、野付名物となつていきます。この藻場を漁船のスクリーンで荒らしてしまわないようにと、現在もなお、帆に受けた風

●新酪農村展望台
昭和48年から国の事業として953億円を投入し、1戸あたり50畝の草地と60から70頭の乳牛を有するヨロップ並の近代酪農地帯が整備され、世界に例のない近代的な大規模酪農村が誕生しました。高さ10mの展望台からは、あたり一面に広がる緑に小台平原にちまっすく伸びる道路と、北海道らしい風景が広がっています。晴れた日には風



◇ラムサール条約登録湿地
風蓮湖春国岱と野付半島、野付湾では、多くの生物にとつて欠かすことのできない生態系である湿地を国際的に協力して保全していくことを目的として、平

●四角い太陽
四角い太陽は、冬の朝に野付湾で見られる現象で空

自然探勝路を散策する人を楽しませてくれます。



成17年11月にラムサール条約登録湿地となりました。

が凍り、水平線のように氷の大地が広がります。

気の温度差によって光が屈折して起こる蜃気楼の一種です。「出現は厳冬期(2

◇トドワラ・ナラワラ

野付半島の中ほどには、ミズナラが海水に浸食されて立ち枯れた「ナラワラ」が、同様に野付半島ネイチャーセンターから木道の散策路を歩くトドマツが海水に浸食されて立ち枯れた「トドワラ」があります。まさに地の果てを思わせる荒涼とし



◇野鳥観察(バードウォッチング)
風蓮湖では、広大なエリアー帯は手付かずの自然が今も残り、数多くの野生動物や植物が生息しています。また、野付半島では、日本で観察されている鳥の約40%にあたる250種類以上の野鳥が観察されています。



凍らないといわれる海が凍るのは、外海と違い波がたたない内海であるためです。加えて、砂嘴である野付半島には山がなく、空がどこまでも続くかのようによく感じられ、白と青の絶景を作り出します。ただし、野付半島の結氷した海には、許可されたツアーのみ入ることができ、

別海町へのアクセス

詳細は別海町のHPをご覧ください。

URL <https://betsukai.jp/profile/access/>



別海町 HP



中標津町の紹介

市町村から

○中標津町について

中標津町は、北海道の東部、世界自然遺産の基部に位置する人口約23000人の町です。武佐岳をはじめとした山並み、広大な酪農風景、少し足を延ばせば世界自然遺産の知床や、阿寒摩周国立公園等の豊かな自然環境に恵まれ、産業では、全国有数の酪農の町でありながら、根室地域の経済の中心として中小の店舗はもろろ近年の大型スーパー等の出店により商業施設も充実しており、田舎すぎても都会すぎてもいい町です。



都会すぎてもいい町です。

また、札幌・東京都と道東をつなぐ中標津空港や、大型スーパー等の商業施設、地域中核病院である町立中標津病院、国・道の出先機関等の都市機能が集積しているため、仕事や買い物等で訪れる近隣市町村の住民をはじめ、様々な人たちが集まる地域の交流拠点になっており、その商圏人口は定住人口を大きく上回ります。人口移動では20代の若い世代が集まる傾向が強く、毎年多くの20代が転入することで中標津町の人口が支えられており、北海道の中でも特に若い町となっています。

【町のPRポイント】

- ・中標津町の年間商品販売額（小売部門）は全道の町村の中で第1位！（市は除く）※令和3年度経済セン

○町の取り組み①外国人「人財」の誘致と多文化共生
中標津町では令和3年に開校した日本語学校を中心に、多文化共生の推進を図っています。人口減少・少子高齢化が進行する中、外国人材を地域における貴重な「人財」として地域の活力とするため、海外プロモーションによる外国人材の誘致や、日本語学校留学生に対する生活支援、地域交流を進め、町の活性化を図っています。

○町の取り組み②中標津町の拠点性の維持・強化
中標津町の強みは近隣市町村の住民等が集まる拠点性であり、人口減少が進む中でこの拠点性を維持・強化する事が重要です。当町は現在、緑ヶ丘森林公園キャンプ場や、町のランドマークである開陽台の再整備、展示機能を兼ねた郷土資料収蔵庫の建設など、人を呼び込むための取り組みを積極的に進めています。

○イベント情報
8月 なかしべつ夏祭り
9月 じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場
2月 なかしべつ冬まつり

移住のヒント

中標津町の基幹産業は酪農で、全国トップクラスの生乳生産量を誇る一大酪農地帯でありながら、ひがし北海道の中核都市としての機能も充実しており、商業施設も多く立ち並び、買い物や食事にも便利で住みやすい町です。さらには、市街中心部から車で5分程の

位置には中標津空港があり、東京や札幌へのアクセスも良い町です。移住体験やテレワークモーターなどの制度もありますので、お気軽に中標津町へお越しください。

【テレワーク誘致事業】
中標津町外の企業や事業所等に所属しながら、町内でテレワークを実施する方に、航空運賃やレンタカー代、テレワークの実施に係る施設利用料、町内において実施したプログラムの体験料を補助する制度を設けています。町内企業視察やアクティビティ体験も可能な事業となっており、積極的に活用ください。詳しくは中標津町HPをご覧ください。

【ふるさと納税】
中標津町は、酪農が盛んであり、町内で生産される牛乳は生産量・品質とも全国トップレベルを誇ります。皆様からいただいたお志は、中標津が誇る良質な乳製品を未来に残すため、牛乳消費拡大を目指した乳製品PR事業の活動費やチーズ作り体験や研修を行う施設設備更新に役立てられています。

中標津町の返礼品詳細は各ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください。（担当：総務部政策推進課 ふるさと応援係）

中標津空港から観光地への距離と時間

野付半島	摩周湖	川湯温泉	屈斜路湖	羅臼町
43km	63km	66km	68km	73km
45分	72分	73分	75分	82分
知床峠	阿寒湖	ウトロ	釧路市	納沙布岬
87km	92km	97km	102km	127km
104分	100分	117分	113分	137分

道道の速度設定は時速50km/hを基本に、付近の国道の平均時速を加味して算出しています。

中標津町のご紹介

なかしべつ観光協会HPはこちら↓



中標津町HPはこちら↓



中標津町では、ご寄附に感謝の意を込め、返礼品をお届けしています。根釧台地の豊かな草を食べ育った牛から絞る新鮮な



返礼品の一例



中標津町ふるさと納税 詳しくはこちら

中標津町のご紹介

「空とみどりが人をつないでいくまち中標津」と住みたいまち住み続けたいまち

観光スポット

○開陽台



をはじめ、周辺地域に複数存在する道路の総称です。特に中標津町の星座観察ポイントでありライダーの聖地でもある開陽台への道が有名で、なだらかなアップダウンがアクセントになっています。ここを走れば北海道の雄大さに感動することでしょう。令和2年度か

日本一の酪農地帯と言われる根釧原野より知床連山武佐岳の裾野につながる標高270mの小さい丘陵です。全国でも珍しい地平線から日の出を見ることができる場所です。冬期間は地平線から昇る太陽を撮影するため多く



○モアン山



中標津市街地から約27kmの山間に、まるで眠りについているかのような奥深い自然に抱かれた養老牛温泉があります。無色透明の豊富な湯量を誇り、俗化されない温泉として多くのファン的心をつかんでいます。

○養老牛温泉

語で、その語源は「静かである川」「小さな鷺捕小屋の川」の意。養老牛市街地から裏摩周方面へ向かうと山腹に「牛」の文字が刻まれているのが目印。周りは牧歌的風景が広がり、酪農王国中標津を体感する癒しの景観です。

○道立ゆめの森公園
敷地は南北約1km、東西に約600m、面積は約52・2haという広大な公園です。広がる牧草地とミッド



○温泉も湧き出る便利な市街地
中標津市街地は利便性に優れ、飲・食・宿すべてが徒歩圏内です。市街地からも温泉が湧き、たくさんのお湯施設があります。用途に応じた宿泊施設が多数あり、観光・ビジネスの拠点として最適です。

○遊べる観光体験
酪農地域での乳製品・肉製品づくり体験もおすすです。中標津町畜産食品加工研修センターは、地元産の新鮮な生乳を使ったゴータチーズやストリングチーズ作り体験、道東の牛肉を使ったソーセージづくりも

地。モアン」とはアイヌ語で、その語源は「静かである川」「小さな鷺捕小屋の川」の意。養老牛市街地から裏摩周方面へ向かうと山腹に「牛」の文字が刻まれているのが目印。周りは牧歌的風景が広がり、酪農王国中標津を体感する癒しの景観です。

のカメラマンが訪れます。また展望館からは「地球が丸く見える、視界330度の眺望」として豊かに広がる牧場、北海道遺産に登録された格子状防風林、そして遥か北方領土(国後島)までも一望できます。

○裏摩周展望台

全国的に有名な神秘の湖「摩周湖」は、弟子屈町からのアクセスがスタンダードですが、清里町と中標津町の境にある裏摩周展望台も絶好の眺望ポイントです。弟子屈町より標高が低い比較的小霧が少ないと言われているため、湖面を眺め

○ミルクロード

牛乳を集荷するタンクローリーが走る一直線の道からその名前がついたミルクロードは、中標津町



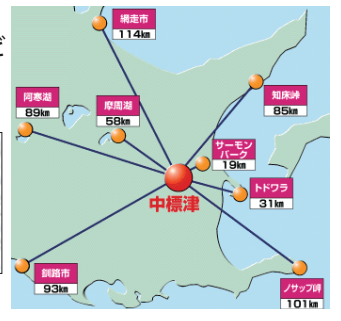
中標津町へのアクセス



●中標津空港から市街地へ車で5分
空港から半径100km以内に各国立公園などがあります。(右図参照)

アクセスの詳しい情報は中標津町HPで。

URL
https://www.nakashibetsu.jp/shisetsu_koutsu/



しべつ 標津町のご紹介

市町村から

★日本遺産「鮭の聖地」の物語

「知床の沖にいるカムイ（神様）が、袋の中の魚の骨や鱗を海にばらまくと、それがみるみる鮭の姿になつて、人々の暮らす村のある川をのぼつてくる。」北海道最東の地、根室海峡沿岸を「鮭の聖地」呼ぶ由来となりました、このアイヌの伝承に象徴されるかのように、この地域には縄文時代から近代に至るまで、人と鮭との関わりにまつわるいくつものエピソードが残されています。

を伝える数々のエピソードを、人と鮭のつながりをテーマに1つにまとめた「一年のストーリー」。それが「鮭の聖地」の物語。根室海峡一万年の道程。す。標津町・根室市・別海町・羅臼町の根室海峡沿岸1市3町を舞台とするこのストーリーは、令和2年、日本遺産に認定されました。

をテーマとして平成11年に新たな伝統の祭りがスタートしました。祭りは、水への感謝と環境を育んでいこうという町民の想いをひとつにした儀式から、賑わいや楽しみを共有する数々の催し、町全体が一体となり喜びと感謝を表す5基の山車と踊り手等による勇壮な巡行が行われます。



朝獲り秋鮭の激安販売や、標津さけ定置漁業部会によるイクラ丼の無料提供には長蛇の列ができ、あき津の名産がてんこ盛りで、あじ大漁つかみどりレース「全国ご当地どんぶり選手権」では約1万5千食の実績もある、標津町ならではの「ご当地グルメ」の代表です。

★鮭飯寿司

鮭と野菜の熟成したうま味に、米飯の甘さと乳酸の酸味が調和した奥深い味わいが特徴の、親から子へと代を受け継がれてきた伝統料理です。お正月の味として古くから親しまれ、お酒との相性も抜群。特に年の瀬から新年には食卓に欠かせない一品です。



★しべつ鮭三大漬丼
親子3代に親に身鮭の出汁正油漬けと最高級の甘い



★しべつあきあじまつり
毎年9月最終日曜日
サイモンパーク広場で開かれ、標津の秋の味覚を堪能できます。

E-mail : kikaku@town.shibetsu.lg.jp
公式ホームページ : <https://www.shibetsutown.jp/>

移住ROSN

★「試せる大地」標津町

酪農業と水産業を基幹産業とし、町の7割近い面積に山林を抱え、アイヌ文化や美しい景観など、標津町には様々な地域資源があり、持続的で発展的なまちづくりの基軸となつていますが、人口減少による担い手不足や、新型コロナウイルスなどの環境的要因の急激な変化により、特に経済・生活基盤となるべき第一次産業に対する課題が多くある状況です。

活用提案を行っています。



★移住について

標津町では、「ひとづくり×まちづくり」みらいづくりをキーワードに、「町民の笑顔輝く」ための政策をひとまとめにした「政策パッケージ」を展開しています。

住宅取得に対する助成

起業の支援には移住要件による助成金の上乗せ措置があるほか、こども園の利用に関して3号認定児（0歳3歳未満）の使用料は国の基準の4分の1とするなどの保護者負担軽減、AIを活用したICT教育や幼少

期からの運動の習慣づけなどの知・徳・体・食育環境の整備などが、代表的な施策です。

移住の相談もワンストップ窓口を設置し、オンラインにも対応しています。標津町にマッチしない場合には近隣でマッチしそうな自治体の紹介もできますので、まずはお気軽にご相談ください。

相談先：標津町定住サポートセンター（運営：ゆこう株式会社）
連絡先：090・2485・0984（担当：大野）
移住情報ホームページ：
<https://shibetsutown-tju.com/>



ふなやぶ産産

海・山・川・大平原の多様な地勢を有し「北海道らしい」豊かな自然環境のもと、国内屈指の漁獲を誇る秋鮭や天然ホタテ貝を主力とする漁業、これを加工原料としたイクラ、鮭加工、ホタテ製品などを製造出荷する水産加工業による水産業と、広大な牧草地で約2万頭の乳牛により牛乳を出荷する酪農業により、「食の生産のまち」として日本の食卓を支えています。



これからもおいしい食材や食料品をお届けするためのまちづくりに、皆様から「寄付」という形でご参加いただくことができますので、温かいご支援をお待ちしています。

問合せ先：標津町役場企画政策課ふるさと納税担当
連絡先：0153・85・7240
ホームページ：
<https://www.shibetsutown.jp/furusato/>

しべつ 標津町のご紹介

●お問い合わせ
○標津町役場 TEL: 0153-85-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
TEL: 0153-85-7240 FAX: 0153-82-3011

感動体験の地 標津町

観光スポット

★北方領土館

北方領土館は、昭和54年社団法人北方領土復帰期成同盟により、北方領土返還運動の推進、啓発



から標津町に設置されました。

2階の展望室から国後島を間近に望むことができ、全国から中高生の修学旅

★標津サーモンパーク
標津サーモンパーク内にあるサーモン科学館は、世界に生息しているサケの仲間18種30種類以上を展示する「サケ」の水族館です。サケの誕生から産卵まで、サケの不思議な生態を季節ごとの行動展示を行っています。特に館内の「魚道水槽」では、9〜10月にはシロザケ・カラフトマスが遡上する様子が見学でき、11月には1日に2〜3回産卵の瞬間に立ち会えるチャンスがあり、2〜5月には海へ旅立つ前のシロザケの稚魚約1万尾を見ることができ、サケにまつわる食文化やアイヌ文化も同時に学ぶことができます。また、教育活動も推進しています。

★ポー川史跡自然公園
町の北に位置するポー川周辺は、800種以上の昆虫、400種以上の植物、道東の最小から最大です。すべての哺乳類が生息しています。木道を散策しながら生息する植物や動物を観察したり、カヌーに乗って川面を覆う河畔の木々をかき分け進んだり、遺跡群や出土品を通じて歴史と文化を学ぶなど楽しみかたは人それぞれです。日本遺産「鮭

★しべつ海の公園
海の公園には、キャンピングカー等の大型車にも対応している広々としたオートキャンプ場があり、広い海と壮大な知床連山を見つめ、芝生の上でゆったり過ごせます。地元で水揚げされた新鮮なサケのハラスや、そのまま食べてもいい、香ばしい鮭節など標津町ならではの食材を用いて、思い出に残るキャンプ飯を堪能するもよし、近くの飲食店で美食を楽しむのもよし、好きなよ

の施設として建設されました。また、知床・ノサツプラインのちようど中央に位置し、網走管内にも通じるルートを擁していること、北方領土国後島まで直線距離で24kmの最も近い位置にあることか

行・近郊の見学旅行で領土問題の学習や元島民の方からの北方領土講話を受けるなど、他地域にはない教育施設として活用されています。

ウザメは歯がない魚なので、噛まれても大丈夫です。いつでもどなたでもチャレンジすることができます。また、サーモン科学館に併設のサーモンプラザでは、特産物や加工品の販売コーナー、しべつ牛乳を使用したソフトクリームなどの軽食やレストランを利用することができ、根室地方の観光拠点となっています。

の聖地」の一端を担うポー川史跡自然公園で、太古の歴史に思いをはせ過ごしていただくことができます。



(北方領土館から見た国後島)



標津町へのアクセス

URL : <https://www.shibetsutown.jp/shokai/access/>

標津町へのアクセス

札幌	新千歳空港	根室中標津空港
札幌	札幌駅	新緑駅
札幌	札幌IC	札幌IC
東京	羽田空港	根室中標津空港
東京	成田空港	たんちょう新緑空港
名古屋	中部国際空港	女満別空港(補完)
大阪	関西国際空港	女満別空港(補完)
大阪	関西国際空港	たんちょう新緑空港

標津町(中心地)

●お問い合わせ
○標津町役場 〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
TEL: 0153-85-7240 FAX: 0153-82-3011

羅臼町のご紹介

市町村から

○グルメ情報

羅臼町の海産物の美味しさの秘密の一つは雄大な自然環境にあります。

シベリアの大河「アムール川」からたどりつく流水が運んでくる大量の植物性プランクトン、知床の山々から流れる栄養豊富な雪解け水に含まれるミネラル、そしてそれらを循環させる野生動物たちの自然の営みが、羅臼の海に恵みをもたらします。

また羅臼沖の根室海峡は、最深部で2400mと水深に大きな差がある事から多種多様な魚が集まります。

【羅臼町 旬の味覚情報】
・羅臼昆布：通年
・エゾバフンウニ：1月下旬～6月

【イベント情報】
◆知床雪壁ウォーク（4月上旬）
知床半島の中心部を貫く



- ・イカ：9～11月
- ・鮭：9～10月
- ・トキシラス：5～7月
- ・ホッケ：4～1月
- ・ステトウダラ：1～3月
- ・マダラ：4～5月
- ・キンキ：5～12月
- ・ボタンエビ：7～10月
- ・ブドウエビ：7～10月

知床横断道路は、冬期間（11月上旬～4月下旬）積雪のため通行止めとなります。深い雪に覆われた知床横断道路は3月から行われる除雪作業によって切り開かれ、道路の両脇には高い雪の壁ができます。知床羅臼雪壁ウォークでは10kmのコースが設けられており、眼前にそびえる羅臼岳、眼下には国後島を望むことができます。

◆羅臼神社祭（7月1日～3日）

漁業の町羅臼を守る、羅臼唯一の神社を祭る神社祭（例大祭）です。漁業者の多いこの町では、氏子も多く羅臼の祭りとして定着しています。

神輿を担ぎ町内を練り歩く勇ましい姿や、各町内会の踊りも見ると目を楽しませます。

◆しれとこ羅臼こんぶフェスタ
羅臼昆布のヒレかり体験、おぼろ昆布づくり体験、「まっか」と呼ばれる竿を使っておこなう収穫体験や、昆布料理や地場産品を使用した料理などを楽しめる飲食コーナー、羅臼昆布が商品になるまでの昆布漁師の苦労や工夫、製品づくりにかける思いなどを体験することが出来る体験型のイベントです。

町内に居住した場合、年間最大18万円を10年間（最大180万円）支援する取り組みを行っています。

◆地球規模の人材育成を目指す学校教育
羅臼町では幼児から18歳までの一貫した教育を推進するため、幼少中高一貫教育に取り組んでいます。幼稚園から高校までの全学校がユネスコスクールに登録され、ESD（持続可能な開発のための教育）を展開しています。また、羅臼町独自の自然や産業、社会的課題を学ぶ学習「知床学」を一貫教育に取り入れ、「ヒ

を担う人材の確保と町内への定住促進を図るため、学生時代に貸与型奨学金を利用した方で、町が認定する事業所等へ正社員、その他正規採用者として就職し、

○町の取り組み

◆奨学金返済支援
羅臼町では、地域の産業を担う人材の確保と町内への定住促進を図るため、学生時代に貸与型奨学金を利用した方で、町が認定する事業所等へ正社員、その他正規採用者として就職し、

移住者サポート

○羅臼町へ移住しようとする方に対し、移住のための引越費用や子育て世帯の移住の負担感、住宅の取得に係る負担を軽減することで、移住する皆様の支援を行うことを目的に「羅臼町移住・定住促進補助金」を支出します。補助の対象など、詳しくはホームページをご覧ください。

◆補助金内容
1. 羅臼町引越支援補助金
羅臼町への引越費用の一部を最大10万円補助
2. 羅臼町子育て世帯移住支援補助金
0～18歳の子を持つ移住者世帯に対し、子1名あたり10万円補助
3. 羅臼町移住者の中古住宅取得・リフォーム補助金

○オンライン移住相談窓口について
移住のイメージが湧かない、羅臼町ってどんなところ？などの疑問を、羅臼町

○「ちよつと暮らし住宅」について

将来、羅臼町への移住を考えている方を対象に「ちよつと暮らし住宅」をご用意しています。家具・家電付きの住宅なので、替えなど最小限の準備で滞在でき、手軽に羅臼町での生活体験が楽しめます。

ちよつと暮らし住宅の住宅写真



で実際に生活している職員に聞いてみませんか？「羅臼町への移住経験者」と、長年羅臼町役場に勤め、羅臼町を熟知する「羅臼くらしマスター」の3名で相談をお受けする、オンライン移住相談窓口を開設しています。

ふるさと納税

自然の恵みを生かし活力あるまちづくりを町民との協働ですすめている当町では、知床らうすに想いを寄せていただける方々のご支援を寄付として受け、住み良いふるさとづくりを目指したいと考えています。多くの皆様のご支援よろしくお願いたします。



◆事業メニュー

- ①地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業
- ②一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまちに関する事業
- ③自然環境に配慮し安心安全に暮らせるような快適なまちに関する事業
- ④豊かな心身を育み、明日へとほばたくまちに関する事業
- ⑤伝統的な行財政運営ができるまちに関する事業
- ⑥その他目標達成のために町長が必要と認める事業

◆寄付者へのお礼
ご寄付いただいた皆様へ、お礼の品として寄付金額に応じて羅臼町の特産品を贈呈しています。詳しくは産業創生課ふるさと納税担当までお問い合わせください（0153-87-2162）

ふるさと納税ホームページ：furusato-rausu-town.jp

「魚の城下町 羅臼町」

観光スポット

オホーツク海に長く突き出した知床半島の背には知床連山と呼ばれる山々が連なり、その山を背景にした東側に羅臼町は位置しています。世界自然遺産知床に代表される世界有数の自然に囲まれた羅臼町では年間を通して様々な動植物を楽しむことができ、また昔から漁業が盛んで、オホーツクの美味しい魚を食べることがができます。

★知床峠
世界遺産「知床」を横断する知床横断道路、その羅臼町と斜里町の町境にある、広大な景色が美しい峠です。北海道の中でも特に厳しい自然環境



★熊越の滝
その名のとおり、熊が越えたから「熊越の滝」。落差は約15mで水量も多く迫力満点です。滝までの遊歩道は木々が茂り様々な草花を楽しむことができます。



★羅臼湖
知床半島で最大の大きさの、深い原生林に囲まれた神秘的な湖です。周辺には5つの沼があり、一の沼から五の沼と名付けられています。高山植物などの手つ

★熊越の滝
その名のとおり、熊が越えたから「熊越の滝」。落差は約15mで水量も多く迫力満点です。滝までの遊歩道は木々が茂り様々な草花を楽しむことができます。

★観光船(クジラ、シャチ、流氷、鳥)
夏は体長15mを超えるマッコウクジラや、ミンククジラ、イシイルカ、野生のシャチを見ることが出来ます。また時期によってはオーストラリアから渡ってくるハシボソミズナギドリの大群を見られることもあります。冬は、オジロワシやオオワシ、流氷とともにやってくるアザラシが見られることも。ぜひ知床・羅臼の海を満喫できる観光船に乗ってみませんか？

★熊越の滝
その名のとおり、熊が越えたから「熊越の滝」。落差は約15mで水量も多く迫力満点です。滝までの遊歩道は木々が茂り様々な草花を楽しむことができます。

★熊越の滝
その名のとおり、熊が越えたから「熊越の滝」。落差は約15mで水量も多く迫力満点です。滝までの遊歩道は木々が茂り様々な草花を楽しむことができます。

★知床羅臼ビジターセンター
世界自然遺産である知床をより深く知り、楽しむための情報提供・レクチャーを行っています。また館

で、冬期間(11月～翌年4月)は数メートルにも及ぶ降雪のため通行止めとなります。
運が良ければ世界自然遺産に生息する野生動物に出会えることもありま



★羅臼岳

日本百名山・花の百名山のひとつで、知床半島にそびえる知床火山群の中の最高峰です。標高1661mで、知床峠か

★セセキ温泉
海岸の岩の隙間から温泉が湧いている天然の岩風呂です。海の中に石で組まれただけの温泉なので、満潮時には水没してしまいま

★羅臼国後展望塔
展望塔と展示スペースなどを有する施設です。屋上の展望デッキからは国後島の雄大な姿と羅臼の市街地を一望でき、写真撮影ス

★クジラの見える丘公園
その名のとおり地上からクジラ(ツチクジラ、マッコウクジラ、ミンククジラ、シャチ)が観察できる日本でも珍しいスポットです。

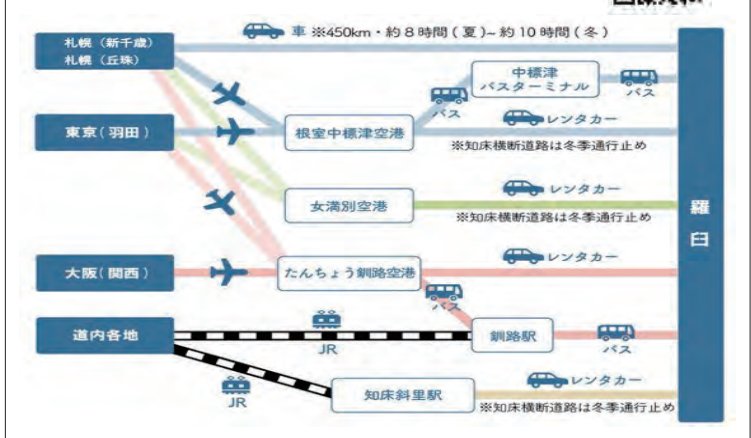


★羅臼町の紹介

その名のとおり地上からクジラ(ツチクジラ、マッコウクジラ、ミンククジラ、シャチ)が観察できる日本でも珍しいスポットです。

羅臼町へのアクセス

URL : kanko.rausu-town.jp



★ルサファイールドハウス
内は、知床の自然を知りたい方にとって理想的な施設です。シャチの全身骨格標本は必見です！

函館市のご紹介

市町村から

○イベント情報

★箱館五稜郭祭

五稜郭の歴史を伝える祭り。「土方歳三コンテスト全国大会」「維新パレード」のパフォーマンスは圧巻です。「5月第3土・日曜日」

★恵山つつじまつり

活火山・恵山のふもと、恵山つつじ公園で開催。紅色のエゾヤマツツジが美しく咲きます。「5月中旬～6月上旬」

★南かやべひろめ舟祭り

昼は舟こぎ競争、夜は漁火船披露と花火大会で盛り上がり、南茅部地区の漁港を祭り会場にして大盛況となります。「6月上旬」

★市民創作函館野外劇

ドラマの舞台になった国の特別史跡・五稜郭跡で多

数の市民が出演する歴史絵巻です。「7月～8月の週末」

★函館港まつり



函館最大規模の花火大会が夏の夜空を輝かせる、市民が踊りながら街をねり歩くパレード「ワッショイは

こだて」も見もので、「函館いか踊り」は当日自由参加できます。「8月1日～5日」

★はこだて国際民俗芸術祭

元町公園をステージに、国内外の音楽・ダンスなど芸術団体が公演・ワーク

シヨップなどを行う民俗芸術分野のイベントです。「8月上旬～中旬」

★はこだてグルメサーカス

道南のみならず全国各地の当地グルメが集まる函館最大の食のイベント。新鮮な海の幸、山の幸、特産品を味わうことができます。「9月上旬～中旬」

★はこだてMOMI-Gフェスタ

函館を代表する紅葉の名所である香雪園が夜間美しくライトアップされ、幻想的な雰囲気になります。「10月中旬～11月上旬」

★五稜星の夢(ほしのゆめ)

五稜郭公園の堀がライトアップされ、星形が浮かび上がる景色はまさにフォトジェニック。冬ならではの美しく幻想的な世界が広がります。「12月～翌2月」



★湯の川冬の灯り

温泉街らしい和の雰囲気醸し出し、灯籠イルミネーションが印象的な響きを見せます。「12月～翌2月」

★はこだて冬フェスティバル

異国情緒あふれる函館の街並みがイルミネーションで光り輝き、ロマンティックで幻想的な世界を創り出します。「12月～翌2月」

★函館西部地区バル街

レトロで風情ある街並みを楽しみながら、さまざまなお店を巡るグルメイベント。今年や全国から人が訪れるほど人気です。「4月と9月の年2回開催」



移住のススメ

○「開かれたまち」函館

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接したまちです。

日本最初の国際貿易港として、いち早く海外に門戸を開き、自由かつ達・進取の気概を持って、新しい知

識や技術を吸収し、固有の文化をはぐくみながら、市民有志が共に手を携え、社会事業や教育事業などを立ち上げ社会に貢献し魅力を高めてきたまちです。

○移住について

函館市では、ウエブページ「函館移住定住ナビ」やパンフレット「移住ガイドブック」等を通じ、実際の移住者の声、子育て環境、施設の紹介など移住定住に役立つ情報を発信しています。

東京圏からの移住者を対象にした移住支援金制度、住まいに関する支援制度、起業を目指す方への創業支援や「函館しごとネット」による仕事紹介等、函館市ではいくつもの支援制度を用意しています。

また、移住相談ができる窓口「移住サポートセンター」



はこだて 函館市のご紹介

ふるさと納税

○ふるさと納税は、離れた故郷や応援したい自治体へ寄附ができる制度です。函館市では使い道を選んでいただき、皆様の寄附をま

の活性化に活かしていきます。

返礼品は500品目以上と充実し、名産品のほかにも、函館旅行に使用できる割引クーポンなどの旅行系返礼品も充実しています。

例えば、宿泊に使用できるトラベルクーポンや、飲食、体験など対象施設の



返礼品の一例

様々なサービスに利用可能なトラベルポイントとして返礼しています。



「GO!すれば、Oh!がある。函館市」
観光スポット

○函館山からの眺望



区には代表的な歴史的建造物として知られる旧函館区公会堂やカトリック元町教会などが点在し、現在も数多く残る和洋折衷住宅とともに異国情緒を醸し出しています。



○ベイエリア

我が国最初の国際貿易港として開港した函館は、港とともに発展を遂げました。明治期に建設された倉庫や郵便局がベイエリアに現在も残り、重厚感ある装いそのままに複合商業施設「金森赤レンガ倉庫」はこ



国内初の西洋式城郭として1864年に完成し、幕末から明治維新にかけて戊辰戦争最後の戦いである「箱館戦争」の舞台にもなった五稜郭。日本の歴史のターニングポイントとして、北海道唯一の特別史跡に指定されています。春は約1500本のサクラが咲き乱れ、初夏は藤棚の花が訪れる人を爽やかに迎えます。



湯の川温泉

北海道三大温泉地の一角を占める湯の川温泉は、

○世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」

北海道、青森、秋田、岩手の4道県17の遺跡で構成される「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、2021年7月に世界文化遺産登録



詳しくは、函館市公式観光サイト「はこぶら」をご覧ください。



江戸末期に開港した函館には諸外国から文化や風習が伝わり、国内の他都市とは性質を異にする街並みが形成されました。函館山のふもと・西部地



だて明治館として活用されています。○特別史跡五稜郭跡



函館市へのアクセス

<JR>

東京→函館 約4時間半 (北海道新幹線)
札幌→函館 約3時間半 (特急北斗の場合)

<自動車>

札幌→函館 約5時間 (一般道の場合)
札幌→函館 約4時間 (高速道路の場合)

<フェリー>

青森→函館 約3時間50分
大間→函館 約1時間30分

<飛行機>

東京(羽田)→函館 約80分
大阪(伊丹)→函館 約100分
名古屋(中部)→函館 約90分
札幌(新千歳・丘珠)→函館 約40分

URL: <https://www.hakobura.jp/access>

QRコードはこちら→



1653 (承応2) 年発祥とされる由緒ある温泉地。函



された。茅葺の地域に構成された。茅葺の地域に構成された。



「はこぶら」はこちら↓



市町村から

○北斗市とは
2006年2月1日、上磯町と大野町とが合併し、「北斗市」が誕生しました。

「北斗市」という名前は、「北の空(大地)にさざんげと光り輝く星(街)(北斗星)」。ほかの市町村の範となると同時に、個性を失わず独自の輝きをもつ街づくり」との思いが含まれていて、「北斗とは小さな星がかたまりあつて一つの核をなすともいわれ、上磯町と大野町の輝か



(北斗市市章)

しい二つの星が一つの北斗をつくり上げ、これから立派なまちづくりを進めていこう」という願いが込められています。

○歴史

北斗市は2016年に開業した北海道新幹線の当面の始発・終着駅があるまちです。函館市に隣接しながら、海と山の魅力を感じ、味わうことができます。気候は対馬暖流の影響を受け、海洋性となつていて、道内にあつては降雪量が少なく、比較的温暖で暮らしやすい地域となつています。

〈上磯町の歴史〉

上磯町は、1805年、清川地域に約15畝の水田が拓かれ、農耕が始まりました。

1880年、上磯村を中心として谷好村、富川村、中野村、吉田村を範囲とした上磯村ほか4か村戸長役場が設置され、自治制が施行されました。

その後、1918年に町制を施行し、1955年4月、隣接の茂別村と合併しました。

農業と漁業が産業の中心だった上磯町でしたが、地理的条件に恵まれていることから、1890年にセメント工場、1956年には石油精製工場ができるなど、工業が中心の産業となり、さらに、1984年にテクノポリス函館の地域指定を受け、企業誘致を積極的に推進したことで、新たな製造業や運輸・通信業の立地が進み、農漁村型から都市型に変わってきました。

〈大野町の歴史〉

大野町は、北海道における水田発祥の地として知られ、1600年代に松前藩主の命により文月地域で米の試作が行われ、1692年に「産米十俵を収穫した」という記録が残されています。

1880年、大野村を中心として市渡村、本郷村、文月村、千代田村、一本木村を範囲とした大野村ほか5か村戸長役場が設置され、自治制が施行されました。

その後、1900年に6村が合併し、大野村とし

また、商工業の振興と併せて、都市近郊型農業や養殖漁業への転換を推進し、都市と農漁村が調和のとれた田園工業都市として発展を遂げてきました。

1899年には町制を施行しました。平坦な土地と温暖な気候に恵まれた大野町は、大野川をはじめ、国営総合かんがい排水事業などにより水利にも恵まれ、水田経営を主体とした農業の町として発展してきました。

1984年にテクノポリス函館の地域指定を受け、さらに1986年、農村地域工業等導入促進法に基づく工業団地の造成により企業誘致に力を入れるなど、近年では、農業と工業の調和のとれた田園工業都市として着実な発展を遂げてきました。

移住のONN

○求人が豊富な北斗・函館圏で！

北斗市内には4つの工業団地をはじめ、約450件の商店や事業所があり、営業職や事務職などの幅広い求人があります。また、通勤圏内である隣接の函館市にはIT企業のSE職や金融機関の営業・事務職などの求人があり、豊富な求人数の中から自分に合った仕事選びが可能です。

○通勤・通学・通院も、北斗・函館圏で楽々！

北斗市から函館市まではおよそ20分※。函館市内の高校・大学への通学や職場への通勤が可能で、進学先や就職先の選択肢が広がります。また、函館市には総合病院や産婦人科のある病院が多いため、いざという

ときも安心です。※道南いさりび鉄道上磯駅からJR函館駅までの所要時間

○就農支援、起業・創業支援制度が充実。

北斗市で新規就農を希望される方は、所定の審査に合格後、受入農家で基本2年間の研修を経て、就農します。就農後、経営をスムーズに軌道に乗せるため月50,000円の助成を行うなど、就農をサポートする体制が整っています。

また、起業・創業を希望される方に対しても、創業バックアップ助成金や新規出店に係る補助制度を用意し、北斗市での新たな出発を応援します。

○空き家バンク

北斗市内の空き家の賃貸・売買情報を、空き家の利用を希望する方に紹介し

ます。居住用の一軒家もしくは店舗等併用住宅が対象です。バンクに登録された物件のリフォーム等の相談や質問は、専門業者からなる「北斗市移住・定住推進協議会」がお答えするなどバックアップ体制も万全です。

○北斗市空き家バンク活用事業補助金

北斗市空き家バンクに登録された物件を借りた方・購入した方に、空き家の購入費や改修費を最大50万円、中学卒業前のお子さんがある子育て世帯への補助金30万円など、合わせて最大100万円を助成します。

○奨学金償還支援事業

若年層の帰郷と本市への定住を促進することを目的に、大学等の修学にあたり奨学金の貸与を受けた方に

対し、北斗市に居住し、市内または近隣市町の事業所等に就職した場合、奨学金の償還の一部を補助しています。その他にも赴任等に要する費用の助成や福祉人材就労奨励金制度など盛りだくさん。

子育て支援

○皆さまからの心あたたまる寄附金は、北斗市が重点的に進めている「北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策や事業などに使わせていただきます。

「北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略」4つの目標

1. 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる
2. 北斗市らしさを活かす

て人を呼び込み・呼び戻す
3. 子どもを生み、育てたいという希望をかなえる
4. 住み続けたいという暮らしの環境を守る

○通学定期券購入費助成事業
○ずーしーほつきー活用情報発信事業

○キミとボクとホクト(移住・定住支援事業)
○シティプロモーション事業
○UIJターン奨学金償還支援事業

○北斗市遺児育英資金
○北斗市奨学金事業
○地域福祉推進事業
詳しくはこちらをご覧ください。
https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/1986.html

「キミとボクとホクト」

観光スポット

○灯台の聖母 トラピス
ト大修道院

正式名称は「厳律シスター
会灯台の聖母大修道院」。
1896年、フランスか
ら9人の修道士たちがこ
の地を訪れ、日本最初の
男子トラピスト修道院を
創立しました。

修道院内では修道士た
ちが自給自足の生活を
送っています。院内にあ
る資料展示室や売店、修
道院から徒

歩30分ほどのところにあ
るルルドの洞窟が見学自
由。院内施設は男子のみ
見学可能(要・事前申込)
となっております。

売店では、修道院でつ
くるとラピストバターや
クッキーを購入でき、そ

に雪解け水とともに丸太を
滑り落としていたことに由
来します。

きじひき高原には、キャ
ンプ場やカタクリの群生地
など、さまざまな見どころ
があります。高原の南側か
らは津軽海峡と函館山の眺
めを楽しめ、平野を見下ろ
す眺めはまさに絶景。また、
テントのほかバンガローが
設置されているので、気軽
にキャンプやアウトドアも
楽しめます。周囲には公共
育成牧場があり、のんびり
草を食む牛の姿も見られま
す。

また、パノラマ展望台は
標高560mの所にあり、
函館山はもちろんのこと、
大野平野、横津連峰、噴火
湾、大沼、駒ヶ岳を一同に

ポットです。

また、松前藩戸切地陣屋
跡は桜の名所にもなってい
ます。毎年5月の下旬にな
ると、長さ約800mの並
木道におよそ300本のソ
メイヨシノが咲き誇り、見
事なピンク色のトンネルが
できあがりです。

さらに、満開時期を過ぎ
る頃には散った桜が地面を
覆い、桜色のじゅうたんが
敷き詰められます。



○北海道水田発祥の地

北海道の美味しいお米は
有名ですが、北斗市は北海
道水田発祥の地としても有
名です。

1692年に野田作右衛
門が米10俵を収穫したとの
記録に基づいて、碑が建立
されました。

これは現存する記録の中
で、北海道最古の記録と
なっています。

現在でも、北斗市は北海
道を代表する米どころであ
り、道産米の宝庫。最もお
いしいとされる特Aレベル
に認定されたことがある
「ふっくりんこ」もたくさ
んつくられています。

○きじひき高原

北斗市の観光名所の一
つであるきじひき高原。
「きじひき」という名前は、
春先に木を切り出した際



のバターを使ったソフト
クリームは濃厚で人気の
商品となっています。
また、皆さんご存知の
童謡「赤とんぼ」の詩は、
大正時代の4年間、修道
院の文学講師を務め、ト
ラピストの丘に住んでい
た三木露風によってつく
られました。

○松前藩戸切地陣屋跡



箱館港の開港にともない
蝦夷地の防衛を強化する
ために、松前藩が構築し
た日本最初の洋式築城で
す。1868年の箱館戦争
で榎本軍の攻撃を受け、守
備隊により自焼・放棄され
ましたが、土塁や外堀など
の遺構が残っていて、現在
は国指定史跡となっている
など、歴史的価値の高いス

○法亀寺



北斗の桜スポットとして
は、法亀寺も有名です。法
亀寺は1849年、篤信家・
中村金兵衛の願いで箱館

実行寺第十五世金子日能師
が、大野村東下町に法亀庵
（ほつきじ）として許可さ
れたのが始まりとされてい
て、このお寺の境内のシダ
レザクラが毎年美しい花を
咲かせています。



法亀寺のシダレザクラは
推定樹齢300年、高さ12
mで枝振りが大変よく、垂
れ下がった枝いっぱい花
が咲くと大変見応えがあり
ます。明るい昼間は勿論で
すが、夜のライトアップさ
れたシダレザクラも見応え
十分。北海道でこれほど大
きく育ったシダレザクラは

北斗市の「いいところ」
をPRしていくために、情
報発信を
研究の柱
とする地
元の大学
「公立ほこだて未来大学」
と協働で、市の公式キャ
ラクター「ずーしーほっ
きー」が誕生しました。北
斗市の特産のホッキ貝とお
米「ふっくりんこ」からな
るイキモノです。



「ずーしーほっきー」は、
誕生以来、北斗市宣伝隊長
を自認していましたが、そ
の活躍が認められ北斗市宣
伝隊長に就任。北斗市職員
などからなる北斗市宣伝隊
を率い、北海道のみならず
全国を飛びまわり、日夜P
R活動に励んでいます。
その活動内容は、フェイ
スブックページ「ずーしー
ほっきーofficial」にアッ
プロードしていますので、

大変珍しく、遠くから花見
に訪れる方もいらっしやい
ます。

○北斗市宣伝隊長「ずー
しーほっきー」

ぜひご覧ください。
・ずーしーほっきーofficial
https://www.facebook.
com/zushihocky/

北斗市へのアクセス

URL : <https://hokutoinfo.com/access/>



市町村から

北海道最南端にあつて温暖な気候の松前は、遺跡の発掘調査により約8,000年前の縄文時代早期から人が住み続けてきた土地であることがわかってい

ます。江戸時代の初め、この地に福山館(のちの松前城)が築かれて以来、交通の要衝として多くのヒト・モノ・情報が行き交いましたが、幕末の箱館開港と廃藩置県によって政庁としての地位と交易港としての権益を失った松前は、漁業のまちとして再出発を果たしました。しかし、大正2年以降、ニシンが全く獲れなくなつたことで、まちは不況にみまわれ、住民の気持ちも沈んでいきました。

この代替漁業としてイカ



釣漁業が本格化し、本州や道内各地から漁業者が大挙して押し寄せ、その数は地元操業者を上回り、地域経済を潤す活況を呈し、松前の漁業に再び光明が差し込みました。

現在もヤリイカ漁は北海道で有数の水揚量を誇り、煌々と輝く漁火が町に明かりを灯し、津軽海峡を漁場とする松前のマグロは、青森県大間のマグロに勝るとも劣らない絶品で、漁業は町の主要産業として連綿と受け継がれています。

漁場に恵まれた松前町ですが、冬になると北から強く吹き付ける季節風が海を荒れさせ、豊かな海は一変して出漁を拒みます。

しかし、漁業にとつての逆風は、再生可能エネルギーの分野で追い風となり、松前町は風力発電の適地として注目されることとなりました。

町内には、大型小型を合わせ200基以上の風車が民間事業者により設置され、9万5千MWh/年以上の発電が行われています。



このなかで、松前町と「再生可能エネルギー事業の推進と地域活性化」に関する協定を締結した事業者が設置した、大型風車12基と蓄電池設備を活用し、プラットフォームなどの非常時に給電できる「非常時地域マイ

クログリッド」を構築するなど、再エネ電気の活用を図っているほか、沖合の海や案内掲示板を確認してみれば?

期間中はさくら観察会も実施されるので、園内放送や案内掲示板を確認してみれば?

【4月下旬〜5月上旬】
お花見売店
【7月下旬】
松前城下時代まつり
【8月13日〜14日】
松前城下マダロまつり
【9月中旬】
松前沖で獲れる「松前まぐろ」を心ゆくまで味わうことができます。



移住のオアシス

対馬海流が運ぶ暖かい海水が空気を温めることで、比較的暖かい日が多い松前町は、北海道では最も年間平均気温が高いまちです。

南に津軽海峡、西に日本海を臨む、豊かな海に囲まれた松前町では、サクラマス、ヒラメ、サケなど釣り人に人気のターゲットからファミリでも楽しめるアジやサバなど年間を通じて様々な釣りが楽しめます。

なかでも松前沖でのマグロを狙った釣りは、全国から訪れる釣り人を魅了してやみません。



松前町は、北海道の最南端に位置することから、本州と北海道を行き来する鳥たちにとつて重要な中継地になっており、年間を通して多くの野鳥を見ることができ、秋には冬に備えて南へ渡るヒヨドリが群れをなして海原へ飛び立つ姿や、それを待ち構えていたハヤブサの急襲など、自然のドラマを垣間見ることができ、楽しめるかもしれません。



町内の民間施設「TEN OH A(テノハ)松前」(東急不動産株式会社)にはコワーキングスペースがあり、余暇の時間で自然体験を楽しみつつ、テレワークで仕事をすることもできます。

アクセスは道南の拠点都市である函館市から車で約1時間30分と便の良い立地ではありませんが、ここでしか味わえない感動があります。

松前町で感動がある日々を過ごしてみませんか。



移住のオアシス

き上げや、まちの活性化に活用していきたいと考えています。これからも応援よろしくお願いたします。

松前町役場政策財政課
0139-42-2275

【4月下旬〜5月上旬】
松前城周辺に広がる松前公園で開催されます。

【4月下旬〜5月上旬】
松前町郷土芸能大公開
【4月29日】
松前藩屋敷浮き紫陽花
【7月下旬】
松前城下時代まつり
【8月13日〜14日】
松前城下マダロまつり
【9月中旬】
松前沖で獲れる「松前まぐろ」を心ゆくまで味わうことができます。



詳細はこちら↑
町のHPへ

「最北の城下町 松前町」

観光スポット

北海道の最南端に位置する松前町は、西は日本海、南は津軽海峡に面し、東西約50km、面積は293・12km²で、国道228号線沿いに集落が形成されています。白神岬の絶景、折戸浜・小浜の海岸景勝など、海岸線は変化に富んだ景観を有し、オオミズナギドリなどの繁殖地として知られる渡島大島、ケイマフリなどの繁殖地である松前小島とともに、松前・矢越道立自然公園に指定されています。

○「松前城」

日本式城郭である松前城は、本丸御門が国の重要文化財に指定されています。



から渡ってきた人々が、遠く離れた江戸や都をなつかしんで桜の木を植えたことがきっかけと言われています。その美しい風景を愛した人々の手によって、松前の桜は、今日まで守り育てられてきました。

松前の桜は「早咲き」「中咲き」「遅咲き」の品種があり、1カ月以上にわたって咲き続けます。

「花守」の手による松前生まれの桜はおよそ100種類あります。

◆松前桜、三大名木

・蝦夷霞桜
龍雲院の「霞桜」の老木に元北大教授の館脇操博士が命名しました。その名の通り、とても淡い紅色が美しい桜です。



・血脈桜

松前で最も多い品種「南殿」の親木。この木の



○「250種類1万本の桜」

松前町は、250種類1万本以上の桜が咲く日本でも有数の「さくら」の里です。

松前の桜の起源は松前藩の時代まで遡り、本州

精が乙女の姿となって現れたという伝説が残っています。
夫婦桜



一本の幹から「染井吉野」と「南殿」が寄り添うように生えていることから「夫婦」の名前がつけられました。

○「北鷗碑林」



松前町出身の金子鷗亭は、近代詩文書の父と呼ばれ書の大家として鷗亭とそれの門人の作品を彫り込んだ石碑120基が道沿いに並び、書の世界へ連れて行ってくれるでしょう。

○「松前藩屋敷」
松前公園の北に位置する江戸時代の松前を再現したテーマパーク「松前藩屋敷」は1991年にオープンしました。中に入ると江戸時代にタイムスリップした気分を楽しめます。

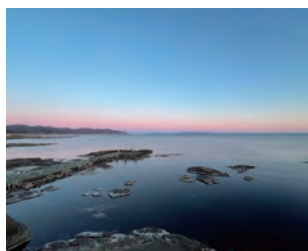


○「白神岬」
白神岬は、北海道最南端、津軽海峡に突き出た岬です。
アイヌ語のシラルカムイ（岩の神がすむところ）が由来のこの岬は、北海道と

神岬は野鳥のサンクチュアリ（聖域）として注目されています。



○「道の駅 北前船松前」
国道228号線の海岸線にある道の駅では、「松前本まぐろ」をはじめ、ウニやヤリイカなど新鮮な海の幸を堪能することができます。また、販売コーナーでは松前の特産品も豊富に取り揃えており、テラスからは津軽海峡の絶景を望むことができます。



松前町へのアクセス



北海道内からのアクセス

Access from within Hokkaido
※高速道路を利用時



URL : <https://travel-matsumae.jp/access/>

●お問い合わせ
松前町役場 担当：政策財政課
TEL 049-1592 北海道松前郡松前町字福山248番地1

TEL: 0139-42-2275 FAX: 0139-46-2048
E-mail: seisaku@town.matsumae.hokkaido.jp
公式ホームページ: <https://www.town.matsumae.hokkaido.jp/>

市町村から

北海道の西部に位置し、津軽海峡に面した海岸は、東の矢越岬から西の白神岬まで、変化に富んだ美しい景観に恵まれ、北海道最南端の道立自然公園に指定されています。

対馬暖流の影響を受けて、年間を通じて道南では比較的温暖な気候に恵まれています。

●グルメ情報
○千軒そば（十割そば）..



そば本来の風味と豊かな味わいで、つるつとした食感が一度食べたらクセになります。

○ちゃんこ鍋..



「横綱の里」と知られる福島町のソウルフードです。

○アワビカレー..



福島町の新たなソウルフード！日本初の養殖技術「アワビ陸上養殖事業」で育てたアワビを贅沢にまるごと3つ使用しています。

○いかとんび入り和風バス



イカの希少部位の「イカのクチバシ」を使った。パスタで、有名シェフが監修したオリジナル和風ソースとの相性が抜群で絶品です。

●イベント情報

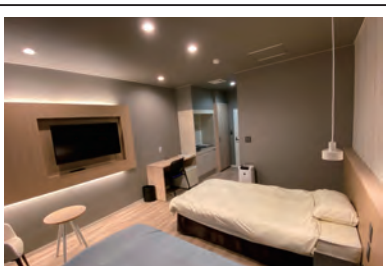
- 5月 殿様街道探訪ウォークin春
北海道女だけの相撲大会（スポーツツーリズムアワード 2023）特別賞
武道ツーリズム賞受賞（！）
- 7月 千代の富士杯争奪相撲大会
【北海道福島会 関東近郊在住者の皆さんが集まり、4月に東京都内で総会を開催しています。10月には代々木公園で開催される北海道フェアin代々木に毎年出店しています。
- 8月 やるべ福島イカまつり&海峽花火大会
九重部屋夏合宿
- 9月 千軒そばの花鑑賞会
福島大神宮例大祭
- 10月 FOOD STADIUM 殿様街道探訪ウォークin秋
【札幌福島会】札幌市近郊在住者の皆さんが集まり、6月に札幌市内で総会を開催しています。
- 11月 南北海道駅伝競走大会
- 2月 どすこい雪まつり

●ふるさと会

福島町には2つのふるさと会があり、地元「福島町」を応援しています。それぞれ、一緒に福島町を応援してくれる仲間を募集しております。（担当：企画課）

移住のヒント

○福島町青少年交流センター「新潮学舎」



2023年4月にオープンした、テレワークやワーケーション、友好市町との生徒交流や教育実習などの研修、福島商業高校の生徒など、全道・全国から若者を受け入れる交流人口拡大の拠点施設です。

各部屋にはエアコン、セキュリティを考慮したWiFi、バス・トイレ、ミニキッチンを完備し長期滞在にも対応しており、施設や地域と移住体験者をつなぐコーディネーターとしてハウスマスターも常駐しています。

（お問い合わせ先：0139-46-7755）

○若者等の定住対策・子育て環境の充実

「子どもは地域の宝」との考えのもと、地域全体で子育てを応援するため、出産祝い金の支給、高校生までの医療費の無償化、保育料及び学校給食費の無料化、満1歳の誕生日に地元産米のプレゼントを行っています。

また、新たな雇用の場の創出に向けた事業展開のほか、若者等に魅力ある住宅環境の提供に向けた取り組みをすすめています。

ふるさと納税

○福島町ふるさと応援基金

福島町を愛する方々のまちづくりへの幅広い多様な参加を進めるため、皆様のふるさとづくりに対する思いを社会的投資（寄附金）として受け入れ、これを基金としてよりよい環境や次世代につながる社会基盤を整備していくこととしています。



・寄附金の使い道

応援基金（寄附金）は、次の中から使い道を指定することができます。

- ①産業の充実及び整備に関する事業
 - ②生活環境の整備及び健康福祉の充実に関する事業
 - ③人材育成及び文化の向上に関する事業
 - ④コミュニティその他のまちづくりに関する事業
 - ⑤その他まちづくりのために必要と認められる事業
- 手続きの方法については、町ホームページをご覧ください。当企画課）
お問い合わせ先：0139-47-3007

「海峡と横綱の里 福島町」

観光スポット

○横綱千代の山・千代の富士記念館



26日には、大きな夢と希望を乗せた北海道新幹線が開通しました。福島町が担った青函トンネル工事の記録や技術情報、実際に使用していた設備重機などをトンネルシアターや展示ホールをおし、体感できる記念館です。

○海峡横綱ビーチ



2011年に本格オープンした道南最大規模の砂浜人口海水浴場です。バックに円錐状の豊かな

級級の山に匹敵する高山性を備えていると言われている。高山市、高山植物が咲き乱れる花畑や千軒清水などがあります。



○伊能忠敬北海道測量開始記念公園



伊能忠敬の作成した「大日本沿海輿地全図」の蝦夷地測量は福島町吉岡から始まったとする記録が残っています。その功績を後世に伝える

自然が残る場所だからこそ出会える動物たちや、ドローンを用いた記念空撮も魅力の一つです。

○吉岡温泉 ゆとりぎ館



「ゆとり」と「やすらぎ」を重ね合わせたネーミングがすべてを物語る温泉です。

ように一面に広がる中央に舞台を設け、北海道無形民俗文化財である「松前神楽」の舞が堪能できる「千軒そばの花鑑賞会」が開催されます。



○殿様街道

2022年に、日本山岳会が選ぶ「日本の山岳古道120選」に選ばれた歴史ある山岳古道です。

江戸時代に、松前から箱館（函館）に至る街道は27里（106歳）あり、蝦夷地の幹線道路でした。この中でも、福島町から知内町に至る道路は、殿様も頻繁に通ったことから

○千軒そば

海拔約100歳で、昼夜

ため、伊能忠敬没後200年の節目であった2018年に建設された記念公園です。

○岩部クルーズ



手つかずの大自然が残る道南の秘境、岩部海岸を小型船グラスボートで周遊するクルーズツアーです。

透き通った海と奇岩怪石が続く雄大な景観、そして幻想的な青の洞窟への侵入と、眼前に広がる圧倒的な自然の風景と冒険心をくすぐるクルーズの搭乗員の語るガイドが魅力です。イルカをはじめとする大

登りつめた全記録と、大相撲文化のすべてが収められています。また、厳しい修行の場であった九重部屋の稽古土俵の再現や体験コーナーなどもあり、だれもが楽しめ、思い出に残る記念館です。

○青函トンネル記念館



海底トンネルとしては世界最長の「青函トンネル」がトンネル技術の集結により完成し、海に隔てられた北海道と本州がつながり、陸続きの交流が可能になりました。そして2016年3月

福島町の紹介

福島町へのアクセス

URL : <https://be-happy-fukushima.com>
(観光協会)



【福島町へのアクセス】

- ＜車で＞
・函館より国道228号車で約70km・約90分
- ＜バスで＞
・函館より船行きで約2時間25分
・本木内航より船行きで約55分

●お問い合わせ
○福島町役場 〒049-1392 北海道松前郡福島町字福島820番地
TEL : 0139-47-3001 (代表) FAX : 0139-47-4504

E-mail : info@town.fukushima.hokkaido.jp
公式ホームページ : <http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

市町村から

○村上屋のランチ

コロナ騒動の最中2019年から始まったムラカミヤのランチも5シーズン目に突入し、日々食材と向き合い年々改良を重ねています。

例年好評であるウニ丼は一年分のウニを食べるのではないかとというほどのボリューム。

知内町小谷石地区でしか見られない景色と食べられない味をご賞味ください。



○養殖サーモントラウト「北海道知内サーモン」



令和5年10月に知内町森越沖でサーモントラウト「北海道知内サーモン」の養殖試験を開始しました。直径40mの生け簀が友好町の青森今別町から森越沖に曳航し、同年11月に300〜400gの種苗を約5万5千匹投入。令和6年7月に約150tが水揚げされました。北海道知内サーモンは、

現在の道内では唯一、外海で養殖が行われ、道内最大規模の養殖施設です。

○知内町の特産品

・北海道一の生産量と質を誇るニラ「北の華」
葉の幅が広く肉厚で、食べると甘くシャキシャキとした食感が特長です！
風味が豊かなので、おひたしにしても、とても美味しくて、

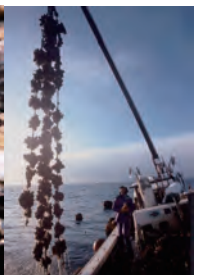
ただけです。そのほか、卵とじ、炒め



物、鍋料理、ニラしゃぶなど、様々な料理によく合います。

・外海育ちがおいしい「秘イ」

津軽海峡の速い海流で育った「知内カキ」。全国的にも珍しい外海での養殖は、充分に栄養を取り込んで、大きく身の締まったカキを育てます。生でもよし、調理してもよし、栄養分が欠乏しがち



な冬の食生活には最適な食品です。

・知内産高級魚「マコガレイ」

城下ガレイとして全国的に知られている高級魚である「知内町のマコガレイ」は、暖流と寒流が交わる津軽海峡の知内沖合いに生息しており、北の海の過酷な環境に耐えるため脂を豊富に蓄えた天下の絶品です。



空き家リフォーム・購入等支援事業

近年、人口減少や少子高齢化など社会環境の変化に伴い、全国的に空き家が増加し、社会問題のひとつとなっている状況から、知内町では空き家に関する様々な支援を行っております。その一つとして、当町への移住や定住を支援し、空き家を有効活用するため、新たに空き家を購入および購入した空き家のリフォームを行う際の費用の一部を補助しています。

うち地域産業担い手センター」を完備しています。この施設は全国的に珍しいCLT (Cross Laminated Timber (クロス・ラミネーティッド・ティンバー)) で建設された建物となっております。

※CLTとは

「Cross Laminated Timber (クロス・ラミネーティッド・ティンバー)」の略で、一定の寸法に加工されたひき板 (ラミナ) を繊維方向が直交するように積層接着した木材製品です。

【利用例】

・農業・行業での就業に向けた長期研修 (2年間)
・企業や農業法人などでの就業研修 (最長1年間)

・各種就業体験・学生インターシップなど (最長6か月)
【利用料金】
・単身用
 (短期) 1日750円
 (長期) 15000円
・世帯用
 (長期) 1日10000円
 (長期) 20000円



「しりうち地域産業担い手センター」外観

ふるさと納税

○令和5年度ふるさと納税前年比72%増！
令和5年度のふるさと納税寄附金として、全国各地から約4.9億円のご寄附をいただきました。

前年度の寄附額と比較し、約72%増の過去最高額となりました。

特産品である牡蠣やニラをはじめ、お米、スモークサーモン、ウニ、ホタテ、

非常食など、300点以上を返礼品として取扱っており、令和5年度からは「トラウトサーモンの刺身」など約30点を新規返礼品として追加しました。ふるさと納税によりいただいた寄附金は、産業発展のためのふるさと創生事業や未来ある子どもたちの子育て・教育に関する各種支援などに使用しています。



ふるさと納税返礼品の一例



←詳細はこちら町のHPへ

知内町のご紹介

しりうち

市町村から

○木古内町とは

木古内町は、青函トンネルを抜けて北海道で最初に新幹線が停まる町で、北海道内では夏は冷涼、冬は温暖な気候です。

まちの89%を占める森林と津軽海峡に囲まれ、農業・漁業・林業が営まれており、甘みが強く、ふっくらとしたやわらかさが特徴のブランド米「ふつくりんこ」や、自然に触れながら肥育される褐毛和種牛「ほこだて和牛」が特産品となっています。

○寒中みそぎ祭り

毎年1月13日から3日間の日程で行われる、木古内町最大のイベントです。行修者と呼ばれる4人の若者が佐女川神社に籠も



り、夜通し水をかぶって自らの身体を清める「水ごり」が行われます。最終日の15日には、厳寒の津軽海峡に入り、別当・稲荷・山の神・弁財天の4体のご神体をそれぞれの行修者が潔めます。地域の豊漁・豊作を願う伝統神事は、江戸時代から続き、2023年には北海道無形民俗文化財に指定されています。イベントでは、冬火花やゲルメフェスなども同時開催されます。

○アイアンマンジャパン 2024 北海大会

2024年9月15日に北斗市と木古内町でワールド・トライアスロン・ロード・トライアスロン・コーポレーションが主催する一連のトライアスロン大会が開催されます。3.8kmのスイムコース・180kmのバイク(自転車)コース・42・195kmのランコースの合計距離226kmで行われ、日本での開催は2015年以来9年ぶりとなり、参加選手は海外から約200人を含む1500人、ボランティアなど関係者を含めると5000人規模の参加が見込まれる大会となります。



○ほこだて和牛 「あか牛」と呼ばれる褐毛和種牛のブランドのひとつで、原産地は熊本県です。が、「ほこだて和牛」の名を冠するのは木古内町内で育った牛のみです。年間220頭ほどという



貴重な生産量もさることながら、肥育期間が短いため、柔らかく上品な肉質に仕上がっているのも人気です。ヘルシーな赤身に肉の旨みがギュッと詰まっています。品評会で最優秀を獲得するなど、北海道NO.1

1のあか牛です！是非ご賞味ください。

○みそぎの舞

生産量の少なさと、町内でしか流通しないというところで「幻の酒」とも呼ばれるみそぎの舞は、町内のたった1軒の農家でしか生産されない食用米「ほのか224」を原料とし、姉妹都市である山形県鶴岡市で醸造されています。スッキリとした辛口は、女性にも飲みやすく人気です。時期限定で販売される「初しほり」や「ひやおろし」に出会えたらラッキーです。



移住のOSN

○北海道新幹線の木古内駅があることから、北海道の玄関口として首都圏とアクセスがしやすく、2022年3月には函館・江差自動車道木古内インターチェンジが開通し、交通の利便性が高まります。向上しています。子育て支援としては、保育施設の保育料と高校生までの医療費の無償化などのサポートを充実させ、2022年4月には「みらいある条例」を制定するなど、道内最大級の移住促進を実施しています。

らえるマイホーム取得促進事業や、空き家リフォーム助成事業、民間賃貸住宅に居住する人の家賃の一部を3年間補助する定住促進家賃補助事業などを推進しています。

○ちよつと暮らし住宅

家具家電付きのお試し住宅で、ちよつと暮らししてみませんか。実際に住んでみないとわからない、生活リズムや地域とのふれあいを体験してください。木古内駅から徒歩約10分、利便性の高い住宅地にあります。



○みらいある条例

移住と町民の定住を促進するため、2022年4月から制定された条例で、町内にマイホームを取得して居住する場合に補助金も

○定住用地無償譲渡事業

町の定住用地に住宅を建設し定住する方に対して、住宅敷地となる土地を無償で譲渡します。

○起業支援事業

町内地域経済の活性化と雇用の促進を図るため、町内で起業する者や新分野へ進出する方に、開業のために必要な投資の一部を補助します。

○子供たちのみらいを共に育む事業(通称:木古内町みらいく事業)

小中学校の教材や修学旅行・宿泊研修等の費用を負担し、保護者の負担軽減を図って子供たちの未来をサポートします。

ふるさと納税

○木古内町では、皆様からいただいたふるさと納税を財源に高校生までの医療費や学校給食費の無償化、出産祝い記念品、小中学校への入学祝い記念品の贈呈など子育て世代への経済的支援を行うほか、きこない大産業魅力フェアの開催費や大学生が木古内町で行うフィールドワークの補助金に活用しています。



○返礼品は、「米の食味ランキング」で特A評価を獲得したことがある木古内町産米「ふつくりんこ」やほこだて和牛(加工品含む)、みそぎの舞が人気です。ふるさと納税は生産者への応援にもなりますので、木古内町と生産者を応援しながら木古内の食材で食卓を彩ってはいかがでしょうか。

「未来をつくるハブタウン きこない」

観光スポット

○サラキ岬に眠る「咸臨丸」
推定されるイカリ。サラキ岬の沖合約2km、水深約20mのところから引き上げられ、今なお調査が進められています。

咸臨丸は、1857年に完成した幕府海軍の主力艦。チユールIPPで有名なオランダのキンデルダイクで建造されました。1860年には、勝海舟、福沢諭吉、ジョン万次郎など百名以上を乗せ、日米修好通商条約の批准書を交換するためにアメリカへと渡った使節を護衛する随伴艦として太平洋を渡るなど活躍しましたが、晩年は変革の波に巻き込まれ、北海道への運搬船となりました。

1871年9月20日、箱館経由で小樽に向かう途中、木古内町のサラキ岬沖で座礁。乗船者は救出され、咸臨丸はその後沈没しました。現在、サラキ岬には咸臨丸を模したミニメントや石碑などが設置されており、オランダをイメージしたチユールIPP花壇などが整備されています。(無料駐車場50台)



また、道南トロッコ鉄道は2014年に廃線区間となった木古内〜江差間を使用して乗車体験ができる施設です。乗車券の購入も旧J渡島鶴岡駅の駅舎を活用し、全国的にも珍しいお寺の境内を横切るスポットのほか田舎風景を眺めながら走るため、木古内町の自然を感じながら楽しむことができます。



道南いさりび鉄道

んだら、道南いさりび鉄道で車窓から海を眺めながら、旅情あふれるひとときを満喫できます。

魅力を発信することです。その特徴を表すものとして、施設には高品質な情報提供を行う「観光コンシェルジュ」、魅力ある周辺地域の逸品を集めた「特産品ショップ」、道南エリアの食材をふんだんに活用する「レストラン」など「e.s」の3つです。また、「道の駅」としては珍しく、鉄道の駅前、かつ町の中心街に位置します。松前や江差、函館などへ向かう路線バス等の発着点にも面して

○佐女川神社
1831年に寒中みそぎ祭りが始まるきつかけとなった神社。1625年に松前藩河野加賀守源景広が佐女川の辺りに祠を建て、武運長久を祈願されたのが始まりとされています。祠に建てられているのは日本の初代天皇・神武天皇の母「玉依姫命」です。この河口に建てられた神社の主祭神が玉依姫命だったことから、女神に助けをもらう川として「佐(助けるの意)女川」



されましたが、咸臨丸はその数日後に破船沈没しました。現在、サラキ岬には咸臨丸を模したミニメントや石碑などが設置されており、オランダをイメージしたチユールIPP花壇などが整備されています。(無料駐車場50台)

○鉄道
木古内町内には、3つの鉄道が走っています。北海道新幹線と道南いさりび鉄道、そして道南トロッコ鉄道です。

ができます。行きは電動走行し、帰りは備え付けのペダルを回しながら走行するため、お子様から大人まで楽しむことができるスポットとなっています。

おり、各地へ向かう交通の分岐点として賑わっている立地です。広大な北海道を自由に旅する拠点としても便利です。



○「いかりん館」
木古内町郷土資料館「いかりん館」。特に人気が高いのが、咸臨丸のもの



木古内駅外観



(写真提供: 桜美林大学 藤田ゼミ)

○道の駅みそぎの郷きこない
当施設の特徴は、木古内町はもろろん、「北海道発祥の地」としての歴史を持つ道南西部9町(知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、木古内町)の

木古内町へのアクセス

URL: <https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/access/>

Access

函館から ●車で約50分 ●道南いさりび鉄道で約1時間	釧路から ●新幹線で約2時間
札幌から ●JRで約4時間 ●車で約5時間	仙台から ●新幹線で約2時間30分
青森から ●新幹線で約1時間	東京から ●新幹線まで利用費で約1時間30分 ●木古内駅まで北海道新幹線で約4時間

QRコード:

鹿部町の紹介

市町村から

鹿部町は北海道の南端、渡島半島の東部に位置し、駒ヶ岳山麓の一角に広がる、函館空港から車で約60分、新幹線の新函館北斗駅から車で30分の距離にある基幹産業が漁業の町です。鹿部という名前は、アイヌ語「シケルペ」（「キハダ（別名シコロ）のある所」）が由来となっており、イナウ（神を祀る木幣・葉用・染料などに使う貴重な木であるキハダが多いことからそう呼ばれ、後に転訛して「鹿部」となりました。気象は1年を通じて比較



的温暖ですが春と秋の気候が長く、夏は南西の風、冬は北西の風が多いことが特徴で、降水量は北海道の中ではやや少ない地帯に属し、降雪は11月中旬に初雪、3月下旬頃に消えます。

○きらめく海

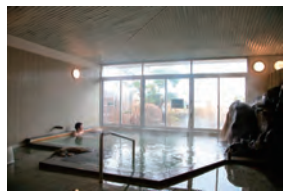
町内には大小3つの漁港があり、海産物としては、通年でタコ、カレイ、ホッケが水揚げされるほか、サクラマス、昆布、ナマコなどの漁も盛んで、特に冬場はタラコの原料スケトウダラ漁と、ホタテの水揚げが浜を賑わしています。そのため豊富な海産物を生かした水産加工業も盛んであり、「鹿部たらこ」を始め、



全国的にも高い評価を得ている逸品が揃っています。

○うるおいの湯郷（さと）

町内には30か所以上ある泉源は、硫酸塩泉（含食塩硫酸塩泉、重曹泉など）バラエティーに富んだ泉質で、神経痛やリュウマチ、慢性消化器疾患など幅広い効能があります。1924年に温泉掘削中に吹き上げた間歇泉は、全国でも珍しい温泉で、「道の駅しかべ間歇泉公園」として整備されています。



○イベントカレンダー
5月・鹿部うまいもの祭り

7月・鹿部稲荷神社例大祭
8月・しかべ海と温泉（いでゆ）のまつり
9月・本別稲荷神社例大祭
毎月第4日曜日・しかべ間歇泉わくわくサンデー
・しかべ海と温泉（いでゆ）のまつり
毎年8月の第3土曜日
鹿部漁港で開催する鹿部町最大の夏のイベントです。ふれあい水族館やカッター競漕大会、ビンゴ大会、歌謡ショーなど盛りだくさんの内容で、毎年町内外からたくさんの方が訪れます。

毎年5月に道の駅しかべ間歇泉公園で開催する春のイベントです。鹿部で獲れた旬の海産物の販売や、鹿部を堪能できるグルメブーや子ども向けアトラクションなど、子どもから大人まで楽しめる企画が盛りだくさんの内容となっています。



移住のサポート

○ちよつと暮らし

北海道に魅力を感じての移住を考えている一方で、実際に生活する環境などに不安を感じている方に、ちよつとの期間ですが移住体験して、鹿部町の魅力発見やふれあいなど移住後の生活イメージを感じていただくための制度が『鹿部町ちよつと暮らし』です。町内の宿泊施設に3泊以上ご宿泊いただいた方に、宿泊費の2分の1以内で1泊あたり3000円を上限に、最大5泊分まで助成します。

https://www.town.shikabe.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/jiu_teiju/1120.html

○未来きらぎのプラン

子育て負担ゼロへの挑戦

鹿部町の紹介

妊娠前から巣立ちまでロングランの行政支援が充実！
出産前後のママさんの不安や負担を解消する手厚いサポート。
・妊娠前・不妊治療費30万、不育治療費10万
・妊娠後・妊産婦健診12万、出産応援金5万
・出産後・子育て応援金5万、新生児聴覚検査、風しん予防接種など
・幼児期・2027年度から保育料無償の認定こども園がスタート！（予定）
・給食費、教材費、制服代を完全無償化
・義務教育期・独自の応援給付金と教育費の無償で就学期の家計負担をゼロに！
・小中学校の教材費、給食費、制服、修学旅行を完全無償（新生活応援給付金（中学校卒業時）10万、部活動等の大会出場費補

助 スポーツ振興センター
共済掛金負担など町が負担
高校・大学卒業・高校卒業後の新生活のサポート
鹿部町へのUターンも大歓迎
・高校生活応援給付金15万円×36カ月分
・新生活応援給付金（高校卒業時）10万
・奨学金返還支援制度
最大600万（上限月5万×10年間）
https://www.town.shikabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/mitrakirakrapan/252.html

とはら
つしち
よらこ
ち暮らし
きは
きらら
くらち
来プこ
未ら



ふるさと納税

ふるさとしかべ応援寄付金

小さな町でも活気に溢れ、「住んでみたい、何度が来たい」と思えるようなまちにしていきたいため、皆さまからの寄付を募り、まちづくりを進めています。

【事業メニュー】
寄附金は、次の事業を推進する財源として有効に活用させていただきます。使い道については、6つのメニューから選ぶことができます。

①教育、スポーツ及び文化芸術の振興
②健康、福祉及び医療の充実
③地域産業の振興
④地域防災に関する事業
⑤自然環境保全

【寄附の手続方法】

詳細は、町公式ホームページをご覧ください。

（担当：水産経済課 01372-7-5298）



町公式 HP はこちら

「海と温泉のまち 鹿部町」

観光スポット

○道の駅しかべ間歌泉公園
(かんげつせん) 公園で



は、日 本でも 大変珍 しい間 歌泉を 見るこ とがで きま す。 1924年、温泉を掘つ ているときに偶然発見さ れ、今も変わらず温泉を 噴き上げていいるしかべ 間歌泉は、地域の誇りと してあり続けています。 2018年には「北海道 遺産」に選定され、鹿部 町民の宝物が北海道民の

体でこの年を祝福していま す。100周年のメインイ ベントとして、本年5月25 日に「しかべ間歌泉発見 100周年記念式典」を開 催しました。

2016年に道の駅とし てリニューアルオープンし た「しかべ間歌泉公園」 は、鹿部の自慢のたらしこ をはじめとする水産加工品を 取り揃えた物産館や地元で 獲れた魚介類を使った家庭 料理が味わえる「浜のかあ さん食堂」、買った食材を その場で調理して楽しめる バーベキューコーナーや温 泉を利用した蒸し釜が利用 できる「鹿部温泉蒸し処」 など、鹿部町観光には欠か せない拠点となっております。



その名 色が損なわれましたが、岩 のとお を流れ落ちる清流が三味線 のような音を奏でることか りひよ りたん の形を われてい ます。水 量も多 く、滝つぼも澄んでいるた め、きれいな光景が広がり ます。

ま) 岬の真ん中に広がる湿 地性の沼を中心とした公園 です。周囲には沼を一周で きる散策路や多目的広場、 バーベキューもできる東 屋、ユニバーサルデザイン のトイレなどがあります。 散策路には木道が整備さ れ、スイセン、ツツジ、ア ジサイなど四季折々の花々 を楽しむことができます。 また、ひょうたん沼越し に望む駒ヶ岳は絶景です。

○町のマスコットキャラク ターをご紹介します！ 鹿部町には、町をPRす る2人のマスコットキャラ クター がいま す。 北海 道駒ヶ 岳から もたら された軽石をモチーフにし た、釣りやサッカーが大好 きでとっても元気な男の子 の「カールス君」と、子ど

○三味線滝 鹿部町の海際を走る国道 278号線沿いにある三味 線滝は、1929年の駒ヶ

○体験観光プログラム 鹿部町では、駒ヶ岳、太 平洋、間歌泉や温泉など豊 かな自然環境と景観、歴史 ある漁業の暮らしぶりや食 文化を 体験し ながら 観光で きるプ ログラ ムを展 開して



もたちが大好きで、ちよっ ぴり照れ屋な「いずみちや ん」です。 町内外の様々なイベント に出張し、鹿部町の魅力を PRしています。



宝物として選定されてい ます。間歌泉は約10分、 15分間隔で約15mの高さ まで噴き上がります。噴 き上がった温泉を利用し た足湯も整備されていま す。

2024年は、しかべ 間歌泉が発見されて以 来、100周年を迎える 年にあたります。鹿部町 ではこの年を「アニバー サリーイヤー」と称し、

○鹿部公園 川遊びができる河川敷、 散歩道、アスレチック遊具 やバーベキュースペース などが あり、 人々 の憩い の場と して親 しまれ ている



しかべ 間歌泉 発見 100 周年記 念事業 実行委 員会を 立ち 上げ、 ロゴやキャッチコ ピー、PR動画の作成の ほか、各地でPRイベン トを実施するなど、町全

○ひょうたん沼公園 ひょうたん沼公園は、 「鹿部公園」は、隠れたお 花見スポットです。毎年春 には約300本の桜が咲き 誇り、多くの花見客で賑わ います。手入れの行き届い た芝生の上でくつろぐこと ができ、夏にはオオデマリ、秋にはナナカマドなど 四季折々の花や草木を楽し むことができます。



います。 鹿部で水揚げされる新鮮 な魚介類を使って、お店で はなかなか出されることの ない、鹿部ならではの家庭 料理づくりを体験できる 「浜のかあさん地元料理体

体験観光プログラム 鹿部町では、駒ヶ岳、太 平洋、間歌泉や温泉など豊 かな自然環境と景観、歴史 ある漁業の暮らしぶりや食 文化を 体験し ながら 観光で きるプ ログラ ムを展 開して

鹿部町へのアクセス



- ・JR 函館駅から函館本線 普通列車 鹿部駅下車 (約 50 分)
 - ・JR 函館駅から直通バス (約 90 分)
 - ・函館市内から車 (約 60 分)
 - ・函館空港から車 (約 50 分)
 - ・新函館北斗駅から車 (約 30 分)
 - ・大沼国定公園からバス (約 25 分)、車 (約 20 分)
 - ・森町内から車 (国道 278 号線) (約 30 分)
 - ・札幌市内から車 (約 4 時間 30 分)
- <https://www.town.shikabe.lg.jp/choseijoho/shikabechonogaiyo/1271.html>

市町村から

七飯町の美味しいもの
七飯町は西洋りんご発祥の地として知られており、「つがる」「ふじ」「レッドゴールド」などの其幹品種のほか、「ひめかみ」や新ブランドである「ななみつき」など多品種のりんごが



栽培されています。中でも「ななみつき」は直近3年間の初競りで7玉10万円の値がつくほどの人気となっています。通称「フルーツロード」と呼ばれる町道沿いには多くの果樹園があり、もぎたてのフルーツをお楽しみいただけます。

箱館醸蔵「郷宝」

郷土の宝である米と水を使い、蔵人たちが情熱を注いで醸したお酒です。
・はこだてわいん「函館ななえシードル」

七飯町で収穫されたりんご100%使用のシードル。泡がきめ細かく非常に繊細で、りんご本来の甘みや酸味もしつかり残り、やや甘口の味わいです。
・ブレイハウス大沼「大沼ビール」

七飯町にはお酒もたくさんあります。箱館醸蔵の日本酒「郷宝」はこだてわいんの「ななえシードル」、ブレイハウス大沼のビール「大沼ビール」は特に道の駅やオンラインショップでも大人気となっています。

大沼湖水まつり

大沼の花火は土地の性質上、通常の高さよりも低く打ち上げられるため大きく見えるのが特徴です。



移住システム

都会と「繋がる」、知られざる北海道の快適な暮らしの住み心地、味わってみませんか？

七飯町に移住を希望。検討している方を対象に、宿泊費用を半額割引します（1人1泊最大1万5000円まで）。また、レンタカーを無料で利用する事が可能です（ガソリン代・補償料を除く）。

令和6年7月16日（火）から受付・事業を開始しているため、七飯町での暮らしを体験したい方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

新幹線、飛行機、フェリー、全ての方法で、各方面からアクセス可能です。七飯町中心部から、新函

館北斗駅（新幹線）まで車で約10分、函館空港まで車で約20分、青函フェリーターミナルまで車で約20分と、アクセスがとても良いまちです。また、函館市街地まで車で約15分のため、大型商業施設への買い物も便利です。さらに、ラムサール条約登録湿地がある大沼国定公園まで車で約15分のため、全ての方面へアクセスがスムーズです。

○大自然と利便性が共存しており、快適な生活環境が整い大変魅力です。

民間賃貸住宅大手が行っている、実際に住んでいる人々への調査「北海道内住みこころランキング」では、道南エリア1位の評価を得ています。函館市の隣り、まちであることや、本州へのアクセスがスムーズである

七飯町にはお酒もたくさんあります。箱館醸蔵の日本酒「郷宝」はこだてわいんの「ななえシードル」、ブレイハウス大沼のビール「大沼ビール」は特に道の駅やオンラインショップでも大人気となっています。

館北斗駅（新幹線）まで車で約10分、函館空港まで車で約20分、青函フェリーターミナルまで車で約20分と、アクセスがとても良いまちです。また、函館市街地まで車で約15分のため、大型商業施設への買い物も便利です。さらに、ラムサール条約登録湿地がある大沼国定公園まで車で約15分のため、全ての方面へアクセスがスムーズです。

○七飯町への移住に興味がある人を応援するWebサイト「NANA E Life」を開設しました。

七飯町は北海道の南に位置しており、西洋りんご発祥の地として有名で、雄大な自然に囲まれた地元の恵みを活かした返礼品を数多く用意しております。

ふるさと納税を財源として実施している主な事業内容としては、教育振興事業（小・中学校の振興に関すること）や観光PR事業（大沼観光の振興に関すること）、地域福祉活動事業（住民サービスの提供、地域福祉の推進に関すること）など多岐にわたります。



ふるさと納税

七飯町は北海道の南に位置しており、西洋りんご発祥の地として有名で、雄大な自然に囲まれた地元の恵みを活かした返礼品を数多く用意しております。ふるさと納税を財源として実施している主な事業内容としては、教育振興事業（小・中学校の振興に関すること）や観光PR事業（大沼観光の振興に関すること）、地域福祉活動事業（住民サービスの提供、地域福祉の推進に関すること）など多岐にわたります。

皆様におかれましては、ふるさと納税を通じて七飯町を支えていただき、心より感謝申し上げます。皆様のご寄付は、地域の発展や住民の生活向上に大いに役立てられております。今後とも七飯町の応援をよろしく願います。



「都会と」繋がる、知られざる 北海道の快適なまち、七飯町

観光スポット

○七飯町は北海道の南西部に位置し、北海道の表玄関である函館市に隣接しています。そのアクセルの良さからも大沼国定公園や、北海道内上位人気道の駅「なないろ・ななえ」などは多くのお客様にご来場いただいている人気な観光スポットとなっています。以下に、七飯町の主な観光スポットについて紹介します。

・大沼国定公園

日本新三景に選定されている大沼国定公園。活火山である駒ヶ岳(1131m)と、その山麓に点在する大沼、小沼

販売しており新鮮な野菜、果物などは地元客にもお買い求めいただけます。また、飲食店も充実しており地元食材を使用したグルメもあるため旅の休憩スポットとしても人気。さらに、観光情報やイベント情報も提供しているため地域の魅力を知ることができ



なないろ・ななえと同様に人気となっています。

ます。中には樹齢130年余に達しているものもあるため保護育成が進められています。

・赤松並木
函館市桔梗町から七飯町峠下まで約14kmに渡って赤松が植えられているこの道路は「日本の道百選」、長い歴史とその価値から「歴史国道」にも選定されています。その歴史は明治から始まっており、明治天皇が



七飯町は自然や歴史など様々な要素を楽しむことができます。町内には観光案内所もあり、七飯町のことを熟知している案内人が丁寧に案内してくれます。観光客を温かく迎え入れる地元民と触れ合いながら心地よい時間を是非、七飯町でお過ごしください。

また、左記QRからは七飯町公式SNSアカウンを閲覧できますのでフォローよりしくお願いいたします。

尊菜(じゅんさい)沼の大沼三湖に代表される湖沼群の地域で、山と水の変化に富んだ景観を一体的に含んでいます。明治期よりリゾート地として知られ、現在でも別荘が建てられており、避暑地としても人気なため四季折々の景色を楽しみながら自然のなかでリフレッシュすることが出来ます。



何度か足を運びたいくなるような体験を提供しています。

隣接している商業施設「THE DANSHAKU LOUNGE」では道内・近郊地域の食材を用い、薪を使ったライブキッチンを行っているため、施設内にはスモークな匂いが漂っており、来場者の五感を刺激します。そのほか、男爵いもの生みの親である川田男爵の歴史、農具等の展示物を通して近代農業の歴史、当時の生活様式を学ぶこともできるため道の駅な



道の駅「なないろ・ななえ」

2017年に開業した道の駅なないろ・ななえ。開業当初から大盛況で毎年約100万人にご利用いただいております。

施設内では、地元の特産品や農産物、加工品などを



七飯町へのアクセス

URL : <https://www.town.nanae.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000305.html>
<http://onumakouen.com/access/>



市町村から

概要

南北海道の内浦湾と秀峰駒ヶ岳の周囲に位置する森町（もりまち）は、真夏でも30℃を超えることがほとんどなく、真冬でもマイナス15℃まで下がることは珍しく積雪が少ない温暖な町です。

「森」の地名は「木の多く生えているところ」を意味するアイヌ語の「オニウシ」を、「森」と意識したものが、古くから豊かな自然に恵まれた地であったことを示します。このオニウシに、漁業のために本州から渡ってきた和人が集落を作ったのは江戸時代初期の頃と考えられています。明治になり、開拓使の出張所が置かれ、札幌本道、函館本線の開通などによって、

交通の要衝となったことから地域の中心地として発展していききました。

産業

駒ヶ岳山麓の火山灰土壌という環境に適応して、多種多様の農作物が作られています。火山灰が育むブランドかぼちゃ「都かぼちゃ」はホクホクの食感が好評です。また、濁川地区では温泉熱や地熱発電の



余熱を利量で一番を誇り北海道を代表する産地の一つとなっています。エビの中でも高級食材とされるボタンエビの産地である森町は、実はボタンのタンエビ漁発祥の地でもあります。



日本の冷凍食品事業発祥の地として知られるなど、森町では歴史的に食品加工が盛んです。地元素材の良

さを熟知した、地元の製造者が作る加工品は絶品揃い。日用品から贈答・土産品まで幅広く揃います。なかでも全国の駅弁大会などでトップの人気を誇る「いかめし」は森町が発祥の地です。

食

新鮮な魚介類と農作物に恵まれた森町には、名店と呼ばれる飲食店が多数点在し、地元の人々に愛されています。さらにミシュランビブグルマン獲得の中華料理店や、落ち着いた雰囲気の出店、前浜で獲れた魚介類の刺身・自家製の生干しや煮魚など豊富なメニューが並ぶ居酒屋など、素材を生かした名店が充実しています。

道の駅

住所：茅部郡森町字上台町326-18
国道278号線沿いの道の駅「つどくるプラザ」は、やすらぎプラザと物産館に分かれており、物産館で買求めた食材をやすらぎプラザに持込みバーベキューを楽しむことができます。また物産館の階上は噴火湾の眺望を楽しめる展望ホールとなっています。

移住ハウス

将来的に森町への定住をご検討されている方々を対象に森町に一定期間滞在していただく「ちよっと暮らし」を行っています。住宅街の一面にある移住体験施設で、小中学校や病院など、町内各公共機関に近い好条件の立地での暮らしを体験できる「市街地型」と、郊外のリゾートホテルにあるコテージおよびホテル客室で、北海道の自然を体験

できる「郊外型」の2種類をご用意しています。実際に生活して、生活スタイルや気候風土などを体験できます。

秀峰駒ヶ岳の麓、大沼国定公園を間近に望む自然環境豊かな分譲地を「からまつの森」として販売しています。澄んだ空気、木々や草花など美しい自然環境に恵まれ、四季の移ろいを五感で楽しめる理想的な生活空間であり、家庭菜園



やガーデニング、バードウォッチングなど気候や自然環境を活かした暮らしが楽しめます。近隣には温泉施設やゴルフ場があり、夏はゴルフ、冬はスキーなどアウトドアスポーツが楽しめます。住宅建築完了後、一定の条件を満たして居住される方は、「定住対策促進奨励」による助成も受けられます。

(担当：企画振興課)

ふるさと納税

町の豊かな自然環境と地域の歴史・文化を守るとともに福祉の向上・教育の振興を目指し、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的として森町ふるさと応援寄附金条例を定めています。

森町のまちづくりに多くの皆さまのご支援をお願いいたします。

○ふるさと納税の使い道

皆さまからいただきました寄付金は、まちづくりの貴重な財源として次の事業へ活用させていただきます。

・事業メニュー

- ① 森町の健康、医療及び福祉の充実に関する事業
- ② 森町の豊かな自然環境を守る事業
- ③ 青少年の健全育成と教

育スポーツ全般及び文化・芸術の振興に関する事業

- ④ 地域防災に関する事業
- ⑤ 地域産業の振興に関する事業
- ⑥ 活気あふれる個性的なまちづくりのための事業
- ⑦ その他町長が必要と認める事業

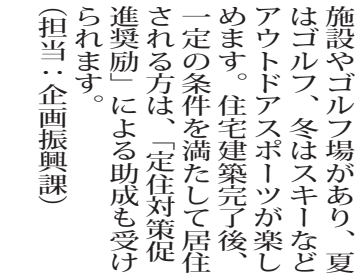
○ご寄付への返礼品

ご寄付いただいた金額に応じて、森町の特産品の中からご希望の1点を返礼品として贈呈します。詳しくは森町ホームページをご覧ください。

(担当：商工労働観光課)



町公式 HP はこちら

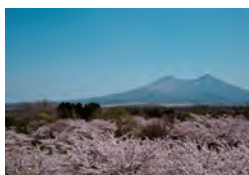


「ちよづい田舎町 森町」

観光スポット

○青葉ヶ丘公園

大正3年に開設された歴史あるこの公園は、森町の市街地の中心にあり、町民の憩いの場として親しまれています。ソメイヨシノを筆頭に17種類約千本もの桜が植えられ、「森小町」など固有種も見られます。5月の「桜まつり」は昭和25年から開催され、毎年10万人を超す花見客で賑わっています。



たのしい公園です。また、園内には「茅栗」の産地として知られています。北海道は、五稜郭を占領した翌年、明治元年に、蝦夷地に新しい国を作ろうとした旧幕府軍の榎本武揚。彼が、新選組の土方歳三とともに上陸したのが鷲ノ木だといわれています。その後、彼らは五稜郭を占領しました。

○榎本武揚上陸地

明治元年に、蝦夷地に新しい国を作ろうとした旧幕府軍の榎本武揚。彼が、新選組の土方歳三とともに上陸したのが鷲ノ木だといわれています。



豊かな田園風景が広がります。太古の火山噴火により形成されたカルデラである濁川盆地です。濁川盆地には、4つの温泉が点在しており、規模は小さいですが、それぞれ泉質が異なり情緒あふれる温泉となっております。ため、はしごしても楽しむことができます。



グ、ソリチューブも楽しめます。さまざまな施設があり、スポーツ合宿にも最適です。スポーツで心地よい汗を流したら温泉保養館「ほつとびあ」の「しゆくのべの湯」で心身ともに癒しのひとときをお楽しみください。



住所・森町字赤井川229
問い合わせ先…



○駒ヶ岳木炭

01374・5・2277
森町の木炭生産量は、北海道一。

駒ヶ岳山麓地区には炭焼き窯が点在しており、北海道内の生産量の約3割を占め、「駒ヶ岳木炭」として広く知られています。

自然豊かな森町の大地や海で育まれた農産物や水産物、伝統の技です。ゆったと湯のみ楽しんだは、施設の「湯の桜はな」で噴火湾の魚介類をふんだんに使った料理を味わったり、新鮮な地場産野菜を購入するのもおすすめです。



り、樹齢200年に達する老木も含め約130本が、古来からの原生林の姿を残しています。

○オニウシ公園

町名の由来である「オニウシ」と名付けられたこの公園は、国道5号線と森市街を結んで、ドライブの休憩所として利用されています。園内にある展望物産館プラザから噴火湾はもとより羊蹄山や有珠山まで望むことができます。



○さわらフラワーロード

国道278号線の約4kmに渡って整備された花街道。5月下旬の八重桜から始まり、黄色のマリーゴールド、鮮やかな赤のサルビア、淡い紫色のラ

の箱館戦争で新政府軍と戦い、結果、破れて降伏することとなります。こうした歴史的足跡を残す場所として、現在はその地に「榎本武揚上陸地碑」が建てられています。

あり、芝生グラウンドや土グラウンド、2面のテニスコートのほか、サイクリング、スポーツスライダー、バギーカーなどができる施設もあります。また冬期にはスキージャンプ、スキーのほか、バナナボートやスノーラフティン

雄大な駒ヶ岳を望む絶好のロケーションの中、源泉100%かけ流しの温泉が楽しめる施設。大浴場や露天風呂、サウナなど多彩な浴槽も魅力



でつくられた加工品や木炭などの特産品にこの「もりまちロゴマーク」を使用しています。



森町へのアクセス

飛行機の場合

東京(羽田)から函館空港まで約80分
大阪(伊丹)から函館空港まで約100分

JRの場合 ※特急利用

JR函館駅から約60分
JR札幌駅から約180分

車の場合

函館空港から約60分
札幌駅から約240分



詳細はこちらから



URL : <https://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/docs/2014090900032/>

市町村から

○八雲町とは
八雲町は北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置しています。2005年に旧八雲町と旧熊石町が合併し、日本で唯一の太平洋と日本海の2つの海をもつまち「二海郡八雲町」として誕生しました。

八雲地域は、松前藩政時代にアイヌと和人の交易地が開設され、双方の交流が盛んな場所となりました。八雲町の前身である旧八雲村となる地域では、1878年に旧尾張藩主徳川慶勝公が本格的な開拓を始め、旧尾張藩士が移住し事業を進めました。八雲という地名は、慶勝公が豊かで平和な理想郷建設を願ひ、須佐之男命が歌った

とされる古事記所載の和歌「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣つくる その八重垣を」にちなみ名づけられました。その後、1957年に隣接する落部村と合併しました。

熊石地域は、鎌倉時代後期には本州から移り住んだ人がいたと言われ、松前藩が置かれると1691年に和入地と蝦夷地の境界として熊石番所が設置され、日本の最北端の地になりました。松前藩政時代からニシンの千石場所として繁栄し北前船の往来もあり、独自の生活文化を形成してきました。

産業

明治初期に旧尾張藩士ら開拓の中心となった徳川農場は、当時では最先端の西洋式農法を用い開拓されました。1920年頃から全町的に酪農に取り組みはじめ、1950年代には「酪農は八雲に学べ」と言われるほど先進的でした。現在では、道南を代表する酪農郷として多くの牛が飼育されるとともに、農業の担い手育成のため研修牧場「大関牧場」が設立されています。畑作では、もち米、米、軟白ねぎ、花卉、イチゴ、トマト等が生産されています。

漁業は、太平洋側と日本海側で営まれています。八雲町全体は漁獲高が約8億円となり、その内、内浦湾側のホタテの養殖は75億円にのぼります。また、熊石では温泉熱と熊石海洋深層水を活用したアワビの種苗生産や中間育成、北海道初となるトラウトサーモンの海面養殖や種苗生産が行われています。両地域では他にも、かれい類、さけ、えび、いか、たこなど、豊富な水産物が漁獲されています。

交通

八雲町は、函館と札幌間を結ぶ国道5号、日本海側の国道229号、太平洋と日本海を結ぶ国道277号のほか、道央自動車道の八雲ICと落部ICがあり、交通の要衝となっています。



トラウトサーモン海面養殖



研修牧場「大関牧場」

また、JR函館本線の鉄道が通るほか、2030年度以降には北海道新幹線新八雲駅(仮称)が開業する予定です。

移住のOSN

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の2つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよどい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

【就業支援】

■新規就農支援貸付事業
町内での新規就農者に対して、最大で500万円を限度に資金を無利子で貸付します。この資金は借り入れ後の10年間営農を継続することで、償還が免除されます。

■八雲町U・イターン就職奨励金
町内の学校を卒業された方や進学や就職により地元を離れた方、新たに町内に転入された方が町内の事業所に正規雇用された場合に奨励金として1年目に現金30万円、2年目にやくも商品券を20万円交付します。

■八雲総合病院奨学金貸付制度
助産師、看護師、准看護師、薬剤師を養成する学校

または養成所に在学、入学しようとする者で、将来八雲総合病院において看護業務に従事する者に対して、修学に必要な資金を貸付します。※貸付金額は職種により変動有。

■八雲町介護従事者就職支援資金貸付
「八雲町外に1年以上在住した後、八雲町に転入した」かつ「八雲町内の介護保険事業所に正職員の介護職として就職した」方のうち、転入及び就職から3か月以内に申請された方に20万円以内を貸付します。(2年間継続して勤務した場合、免除規定あり)

ふるさと納税

○八雲町ふるさと応援寄附金
八雲町では、活気ある個性豊かなまちづくりを進めるため、ふるさと応援寄附金を募集しています。

○寄附金の用途指定(11分野)
自然・環境分野、産業分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、住民協働分野、医師招へいプロジェクト、熊石地域水産試験プロジェクト、北里八雲牛生産拡大プロジェクト、「北海道木彫り熊発祥の地・八雲歴史と文化財保存活用プロジェクト、サーモン試験養殖プロジェクト、町長委任

○ご寄附に対し返礼品を贈呈しています
八雲町では、寄附の奨励と特産品のPRを図るため、町外寄附者に対し返礼品を贈呈しています。

八雲町ふるさと納税特設サイトから各ポータルサイトへアクセスしていただき、お申込みください。

ぜひ八雲町の自慢の返礼品をご賞味ください。(写真下「北海道二海サーモン」)



【問合せ先】

担当：商工観光労政課 ☎0137-62-2116
●八雲町ふるさと納税特設サイト
<https://www.town.yakumo.lg.jp/site/furusato/>



「日本で唯一
二つの海をもつまち 八雲町」

観光スポット

○噴火湾を一望 道立公園 噴火湾パノラマパーク&周辺おすすすめスポット

道立公園噴火湾パノラマパークは、年間入込客数約70万人を超える代表スポットのひとつです。噴火湾を一望する丘には、オートキャンプ場、パークゴルフ場、まきばの冒険広場など、家族でアウトドアを楽しめる施設が整備されています。この公園は高速道路から降りずに利用でき、高速道路PAに併設されるパノラマ館にはキッズアリーナやカプエが設置されています。

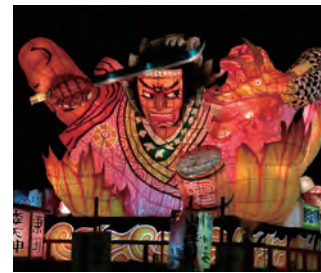
○発祥から100周年 北海道といえは木彫り熊 雲が發祥の地

北海道木彫り熊發祥の地として2024年3月に100周年を迎えました。木彫り熊の起源は、徳川農場主である徳川義親公が1922年にスイスを旅行している際に木彫り熊を見つけ、熊狩りで毎年訪れて

木彫り熊以外にも、八雲と尾張徳川家とのかかわり、スイスやペザントアート等について紹介しています。

○北海道三大あんどん祭り 八雲山車行列

毎年7月の第1金・土の2日間にわたって開催される、夏の夜を彩る一大イベントで、令和6年に40周年を迎えました。斜里町「しれとこ斜里ねぶた」、沼田町「夜高あんどん祭り」とともに北海道三大あんどん祭りとして知られ、各団体



焼いて食べることができました。炭火焼コーナーもあり、近隣市町村にとどまらず、札幌などの道央圏からも多数訪れるイベントとなっています。

○400年以上の歴史 熊石地域神社例大祭

「根崎神社例大祭」「北山神社例大祭」「相沼八幡神社例大祭」は、400年以上の歴史があると言われていいます。京都祇園祭りの流れをくむ伝統の祭ばやしの音色が響きわたり、「天狗さん」と呼ばれる猿田彦を先頭に、熊石の地域ごとの神輿・山車を列をなし、2日間かけて町内を練り歩く姿は圧巻です。

○熱田神宮日本で唯一の分社 八雲神社

八雲神社は、1878年海の水深約200m以深に旧尾張藩主徳川慶勝公が存在する「日本海固有水」

開拓し、移住した旧藩士たち故郷の熱田神宮神符と尾張徳川家歴代の神霊を祭り、産土神としたのが起源です。1887年に熱田神宮の分霊を仰ぎ日本で唯一の分社となり、1934年には徳川慶勝命が合祀され

いる八雲町の農民の副業に持ち帰り、八雲の人々にすすめたのが始まりです。八雲町木彫り熊資料館ではこの持ち帰ったスイスの熊や北海道木彫り熊第1号のほか、八雲で作られ続けてきた木彫り熊や北海道内の木彫り熊も展示しています。

○熊石あわびの里フェスティバル

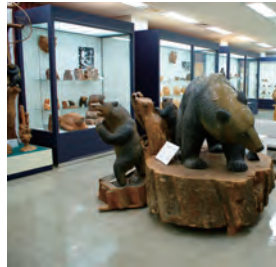
あわび養殖地である熊石地域ならではのイベント。あわびの販売はもちろん、飲食ブース・物産販売などが多数出店。ステージショーのほか、例年開催される人気ビンゴ大会などの各種ゲームでは豪華景品が用意されています。また、購入したあわびをその場で



まきばの冒険広場



パノラマ館



八雲町へのアクセス

URL : <https://www.town.yakumo.lg.jp/soshiki/seisaku/content0310.html>



JRの場合
函館駅から約1.5時間
札幌駅から約2.5時間
新千歳空港から約2時間
車の場合
函館駅から約1.5時間
札幌駅から約3.5時間
新千歳空港から約3時間

市町村から

○長万部町とは

長万部町は渡島半島内浦湾の最深部に位置し、東は内浦湾に臨み、北は島牧村・黒松内町に接し、西は今金町に、南は八雲町に接しています。

地形はおおむね丘陵が起伏し、大部分が山地によって占められ、平地は内浦湾に沿って帯状に分布し、川地を有しています。

長万部町内にはJR北海道の函館本線・室蘭本線が分岐し、町内に4つの駅があります。国道は5号線・37号線・230号線の3つの主要幹線道路が集中するほか、道央自動車道の長万部ICと国縫ICがあり、北海道の交通の重要拠点となっています。また

2030年度以降には北海道新幹線長万部駅が開業する予定で、重要拠点としての役割が一層高まっています。

○東京理科大学 北海道・長万部キャンパス

昭和62年に東京理科大学長万部校舎(キャンパス)開校し、37年の歴史を刻んでおります。

当初は基礎工学部でありましたが、学部・学科の再編に伴い、令和3年度から長万部キャンパスは名称を北海道・長万部キャンパスとして、基礎工学部にてわって経営学部国際デザイン経営学科として歩みを進めております。

全国から集まった学生たちは、1年間を全寮制で生活しながら長万部で過ごすため、毎年学生が入れ替わ

ります。町民と学生はこの間、学部が変わっても交流が生まれ、毛がまつりなどのイベントでは学生がボランティアスタッフとして参画し、今では、なくてはならない存在となっております。

大学側も、学生とともに数学や理科、英語などの町民向けの授業を行い、子どもから大人まで教養を高められているほか、文化面でも音楽を通して交流を図る「ハートフルコンサート」が実施されています。

平成28年には、長万部キャンパスが開設30周年を迎え、記念イベントが行われたほか、30年間の歴史を振り返るとともに、地方創生に向けて「長万部地方創生サミット」も開催され、理科大の関連会社から町の資源を活用する新型ア

グリビネス構想が発表され、「ENRICHMIN I TOMATO(エンリッチミニトマト)」が完成しました。ENRICHMIN I N I T O M A T O は高糖度のミニトマトで、ふるさと納税の返礼品にも登録されており、人気の一つとなっています。

コロナ禍を経て、令和5年に長万部キャンパスが4年ぶりに再開され、経営学部国際デザイン経営学科1年生が入寮しました。同学科は、「デザイン表現のスキル」「デジタル技術の基礎知識」「異文化への対応力」の3つを柱にしてイノベーション人材の育成を目指しております。町のよりよい未来を構想する「コ・デザインプロジェクト」なども行われており、キャンパスから街へ出て、町民と

交流し地域活動などを企画する学生たちの姿が見られます。

町と理科大のさらなる連携で、町民憲章の一つに謳っている「ちからを合わせ、文化の高いまちをつくらう。(よい伝統を受けつぎ、学芸にしたいしみ、みずから学ぶ努力を)」のさらなる実践に向けて取り組みを進めています。



移住準備中

○おしゃまんべ家さがし Web

長万部町への移住等を促進するため、町内の売り家などの物件を「おしゃまんべ家さがし Web」を通じて、町のホームページ上で公開し、情報提供しています。

登録物件一例



○子育て支援

子どもの医療費助成を高校卒業までの子どもの医療費を全額助成しています。ひとり親家庭の父母にも医療費を助成しています。

○保育サービス

一時保育事業実施のほか、上の子が保育所等に入室している場合に第2子以降の保育料が無料になります。

ふるさと納税

○長万部町へのふるさと納税

長万部町では、個性豊かな活力ある安心したまちづくりを推進するため、ふるさと納税を受け付けております。皆様のご利用をお待ちしております。

○寄附金の用途指定

まちづくり・産業振興・観光・健康・福祉・医療・子ども・子育て支援と教育・文化・スポーツ・環境保全・森林整備・指定なしの各目的に指定できます。

○ご寄附に対し返礼品を贈呈しています

長万部町では、寄附の奨励と特産品のPRを図るため、町外寄附者に対し返礼品を贈呈しています。長万部町ふるさと納税特設サイトから各ポータルサイトへアクセスしていただき、お申込みください。ぜひ長万部町の自慢の返礼品をご賞味ください。



「ひらけ！つなぐれ！おしゃまんべ！！
みんなが楽しい未来へ」

観光スポット

○長万部温泉
昭和30年に天然ガスの試掘によって発見された温泉で、神経痛・冷え性・痔疾などに高い効能があると評判の温泉です。泉質は「高張性弱アルカリ高温泉」で、



湯上がり後にも長時間身体がポカポカしています。国道からもJR長万部駅から近く、ドライブや観光客にも庶民的な温泉として親しまれています。



○毛がにまつり
長万部町の一大イベントである毛がにまつり。「全日本毛がに早食い競争」は道外からの猛者も参加します。名物である「かにめし」の毛がにの販売もあり、茹でたての毛がにを味わうことができます。

○シヤマンベ陣屋跡
嘉永6年（1853年）ペリーが浦賀に来航したことで、鎖国は終わりを告げた。安政3年（1856年）、江戸幕府の命を受けた南部藩が、恵山岬（函館市）から幌別（登別市）までの警備を受け持ち、箱館に元陣屋を建て、室蘭に出張陣屋を置き、砂原（森町）・長万部に分頓所（南部室蘭陣屋のヲシヤマンベ分屯所）を設置しました。これは、山越えは厳しく、見通しがよく、通路もひらかれ、室蘭と砂原の中央に位置し、警備には都合のいいという理由からでした。古くから

交通の要衝だったと歴史が語っており、現代もその役割となっており、かつての陣屋跡は現在、かつての建物や大砲置き場などは跡形もないが、当時の濠や土塁の跡が残り、おもかげをとどめています。貴重な近世史跡として、昭和49年に国の文化財にも指定されました。



○長万部公園
散策路や遊具施設、テニスコートなどのスポーツ施設のある総合公園です。春の桜、ツツジ、夏の町花アヤメの美しさもひとしおで、自然に親しむ町民の憩いの場として人気があります。バンガロー（有料）もあり、期間中は町外からのファミリーキャンプでにぎわっています。



○まんべくん
長万部町のPRキャラクター。町制施行60年のメモリアルの年の平成15年に公募で入選した作品です。外見は、長万部町の名産品でもありますカニ、ホタテ、町花のアヤメを組み合わせたデザインとなっています。



週末のお昼前後に長万部駅に到着する特急列車のお

長万部町へのアクセス

URL : <https://www.town.oshamambe.lg.jp/soshiki/3/103.html>



市町村から

江差町では「江差三大祭り」と称される大きな祭りが毎年催されます。

まず7月には江差の初夏を告げる海の祭典「かもめ島まつり」が開催されます。

海上安全・大漁祈願の厳島神社例大祭のほか、露店やキッチンカーが立ち並び、お祭りならではの美味しいグルメを楽しめます。

また、歌謡ショーなどの多彩なステージイベントや初日の夜には「かもめ島花火大会」も催され江差の初夏を満喫できます。

8月には北海道最古の祭りといわれる姥神大神宮のお祭りが行われます。

かつては、その年のニシン漁を終え、蝦夷地きつての景気にわかえる夏の江差で、豊漁に感謝を込め



てにぎにぎしく行われるお祭りでした。宝暦年間(1751~1764年)に作られた神功山をはじめとする、武者人形、能楽人形、文楽人形、歌舞伎人形などを配した豪華13台のヤマが、吹き流しや錦の御旗をひるがえし、流暢な祇園囃子の調べにのって神社の神輿行列と共に町内を練り歩きます。はるか遠い江差

のニシン景気を現代に伝える夏の祭大祭です。

9月には江差の長い歴史と風土のなかで、幾多の変遷を経ながらこの地に根付き、育まれてきた民謡の王様「江差追分」の全国大会である「江差追分全国大会」が開催されます。

いつの頃からか日本人の心の奥に共感を呼び起こす唄として全国に広まり、現在ブラジルなどの海外支部もあり世界に誇る伝統文化と呼ばれるまでに成長を遂げました。

その追分節を、全国から選び抜かれた江差追分の唄い手が江差町に集い、日本一のノドを競い合う、追分の本場ならではの一大イベントです。

昭和38年に第1回が開催



子育てのサポート

江差町は、檜山振興局や各行政機関(海上保安庁・簡易裁判所・ハローワーク等)が集まる檜山管内の中心地として機能しています。

また、気候も非常に暮らしやすいのが特徴です。北海道の年平均雨量が約700~1700mmに対して、R5年の年間降水量は1233.5mmと平均並み、夏場(7~9月)の平均気温は30度を超える日はなく、冬場(12~2月)は、最低5度を下回ることはありません。

北海道東や道北と比較すると温暖な気候が魅力です。

さらに、台風の接近も少なく付近に接近しても温帯低気圧に変わるため、直接的な被害は少ないのも安心できる要素です。また平成

5年に発生した南西沖地震(奥尻町)以降、近年、大きな地震の発生もしていません。

このように、穏やかな気候のもと、江差町では豊富な支援制度を通じて子育て家庭を温かくサポートしています。

●赤ちゃんを育てる家庭を応援するため、新生児訪問時と10ヶ月児健診時に、それぞれ6万円分の「子育て応援券」を交付しており、町内の指定薬局などで、育児用品や必要なサービスと交換することができます。

●町立保育園と私立認定こども園では、保育料と給食費を無償化することで、子育て家庭の負担を減らしています。また、3歳児以上の副食(おかず)給食費も無償化している他、小中学

校の給食費も完全に無償化しており、子育て家庭の経済的な負担を軽減しています。

●安心して子育てができる環境を整えるため、18歳までの子どもを対象に、保険診療にかかる医療費を全額助成しています。これにより、病気やケガの際の経済的な不安を軽減し、子どもたちの健やかな成長を支援します。

●子育て世帯が町で理想の家を持てるよう、新築・中古住宅の取得を支援しています。新築住宅を取得する場合、最大200万円の助成を行います。また、中古住宅の取得でも最大100万円の助成が受けられます。

●問い合わせ先 まちづくり推進課広報統計係

0139-52-6712

ふるさと納税

ふるさと納税によりいただいた寄附金は、地域の発展や住民生活の向上のために活用させていただきます。

子育て支援としては「移住について」で紹介した「子育て応援券交付事業」に活用している他、家庭の経済環境に左右されることなく、学習の機会を得られる環境を作り出すため、低所得者世帯の児童・生徒を対象に町内の学習塾に通う費用や通信教育費の一部助成事業にも充当しています。

また、歴史の振興に資する事業として、江差沖で沈没した幕末の軍艦「開陽丸」の船体を未来永劫残していくため、船体の状態や保存環境を潜水調査する費用に

も活用させていただきます。

皆様からのご寄附は、江差町を支える重要な力となっています。

これからも地域の魅力を引き出すために、いただいた寄附は大切に活用させていただきますので、引き続き江差町をよろしくお願いたします。

●問い合わせ先 まちづくり推進課まちづくり推進係

0139-52-6712



町のふるさと応援サイトはこちら

「江差の五月は江戸にもない、ニシンの繁栄が息づく町 江差町」

観光スポット

北海道の南西部に位置し、北海道文化発祥の地といわれる江差町。江戸期のニシン漁最盛期には「江差の五月は江戸にもない」といわれる程繁栄を極め、北前船交易によりもたらされた江差追分などの伝統芸能や生活文化が数多く伝承されています。

○かもめ島―江差の歴史と自然が織りなす美しいスポット

かもめ島は、かつて「弁天島」と呼ばれていた歴史ある場所です。この天然の良港は、ニシン漁や北前船交易の重要な



舞台として栄え、江差の歴史はこの島から始まったと言っても過言ではありません。現在、かもめ島は檜山道立自然公園の特別区域に指定され、その美しい自然環境が守られています。

ト・自然豊かな散策スポット

海拔30m、周囲2.6kmのかもめ島は、観光の

ターゲット地点として最適です。散策や釣り、ジョギングなどさまざまな目的で多くの人が訪れます。夏には海水浴やマリンスポーツも盛んで、賑わいを見せます。

・鳥と植物の楽園
檜山道立自然公園特別エリアとして守られてきた自然環境に、1年で130種を超える野鳥が訪れ春から秋は多様な海浜植物が島を彩ります。

・島の頂上での特別な体験
168段の階段を登ると、島の頂上に到達します。ここには野営キャンプ

場もあり、キャンパーなどが利用する特別な空間として知られています。壮大な景色を眺めながら、自然の中でリフレッシュするひとときを楽しむことができます。この場所からは「夕日100選」にも選ばれた美



しい夕日を眺めることもできます。特に水平線に沈む夕日は絶景で訪れる人々を

魅了します。
○開陽丸(かいようまる)―幕末の名艦が伝える歴史の物語

明治元年の箱館(はこだて)戦争の最中、暴風雪により北海道江差沖で座礁・沈没した旧幕府軍の軍艦「開陽丸」は、沈没してから100年以上経った昭和49年、江差港湾で存在が確認されました。

実寸大で復元された開陽丸記念館では、開陽丸が航海した時代の歴史の流れを解説したパネルや約



開陽丸が伝える歴史の物語を体験することができ、いにしえ街道―江差町の歴史が息づく風情ある街並み。江差町は、北海道の中でも古くから和人が訪れ、最も早く開港した港町のひとつです。17世紀以降、日本海航路の北前船の往來を基盤に、檜材とニシン漁、ニシン取引によって栄えたこの町には、数多くの歴史的・文化的遺産が残されています。

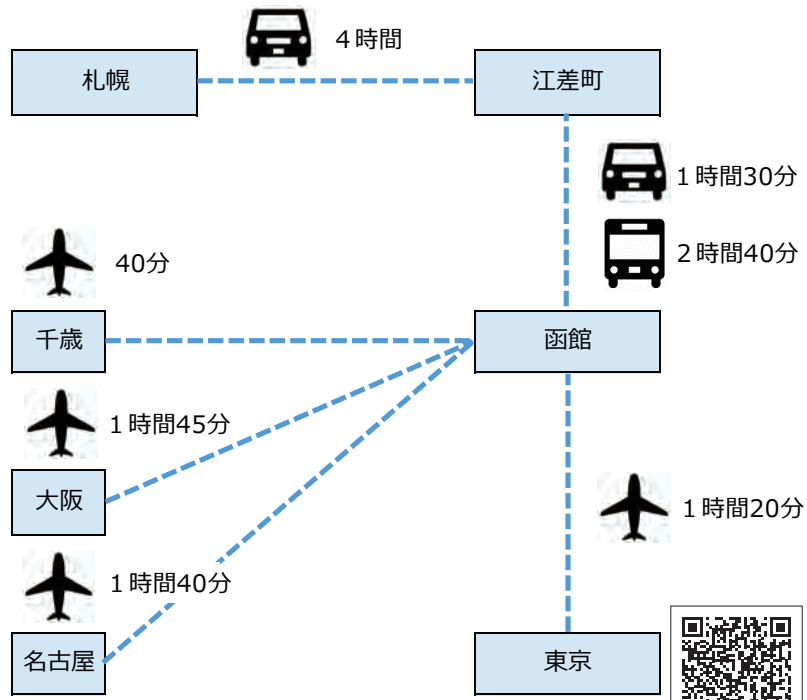


「いにしえ街道」は、この江差の美しい景観を後世に伝えるために整備された旧国道沿い地区で、明治初期まで盛んに行われた檜材とニシン取引に関連した問屋、蔵、商家、町屋、さらには社寺など、数多くの歴史的建造物や史跡、旧跡が

散策コースや休憩スポットも整備されており、車を降りて気軽に散策を楽しむことができます。歴史のスポットを巡りながら、瓦屋根や木造家屋の素朴な魅力を楽しむことができ、訪れる方々に心の安らぎを与えてくれる場所となっています。

3000点の引き揚げられた資料が展示されており、点在しています。いにしえ街道は、快適な

江差町へのアクセス



URL : <https://www.hokkaido-esashi.jp/modules/towninfo/category0004.html> 詳細はこちらから

市町村から

◆イベントカレンダー

6月 夷王山まつり
夷王山での歌謡ショー、クイズやチャンバラで競い合う戦国オリンピックなど上ノ国に初夏を告げるイベントです。歌謡大会では町内外から多くの出場者が自慢の歌声を夷王山に響かせます。



のYOSAKOIソーランサークル「縁」による演舞、天の川上空に打ち上げられる花火など夏の風物詩が詰め込まれています。

7月 てつこい海鮮まつり
上ノ国の前浜で獲れた新鮮で安心・安全な魚介類を格安で販売する地元住民への還元祭です。

8月 天の川まつり(旧・エゾ地の火まつり)
お盆の時期に開催される上ノ国を代表する一大イベントです。

仮装盆踊りや北海道大学

で、毎年多くの来場者で賑



わいます。

10月 産業まつり
地産産の新鮮な野菜や新米、鮮魚、地元食材を使った料理などが販売されるほか、鮭のつかみどりやビンゴ大会、餅撒きなど味覚の秋を満喫できるイベント

その他にも、ゴールデンウィークやハロウィンの時期に合わせて道の駅上ノ国もんじゅで行われるミニイベント、ソムリエや醸造家の想いに触れながら豊かな自然に囲まれてワインを堪能できる上ノ国ワイナリー主催のワインまつりなどがあります。

◆グルメ情報

道の駅上ノ国もんじゅでは、町で獲れたヒラメを使った看板メニュー「てつこい天丼」、「てつこい漬丼」や「海老だしラーメン」などのほか、檜山産のイチゴで作ったジュースやソフトクリームが味わえます。

(2)上ノ国町出身学生帰省支援事業

上ノ国町出身で町外に居住かつ大学や専門学校等の学校に通う学生の方を対象として、夏休みや冬休みなどにおける気軽な帰省の実現、帰省時の社会参加や地域貢献活動の促進、関係人口の増加及び将来のUターン促進を図るため、帰省に要する経費を補助します。

◆注目の施策

(1)エアコン購入費および設置費用補助金交付事業

町では、住宅における熱中症による事故を未然に防ぐ、住民の安全かつ安心な生活を支援するため、エアコン設置に係る費用を補助します。補助期間は2024年4月1日から2027年3月31日までの3年間で、1世帯につき1台まで最大10万円を補助します。(担当課：施設課)

移住ハウス

移住・定住施策として、18歳以下の医療費無料化をはじめとする子育て支援などの施策、宅地分譲や空き家バンク制度、ちよつと暮らし住宅の整備などを行っています。

◆子育て支援施策

本町では、子育て世帯を支援するため18歳以下の医療費、保育料および副食費、小・中学校の給食費、放課後児童クラブや子ども発達支援センターの利用料を無料化しています。さらに、2022年4月からは、新たな子育て支援策として子どもを出産した場合に出生祝金を支給する「出生祝金支給制度」を開始し、翌年2月からは出生祝金の一部を出産・子育て応援ギフトとして10万円分のクーポン



券で交付されるようになりました。
◆ハンノキ地区宅地分譲
上ノ国町役場から約3kmの位置に全50区画の宅地を整備し、家庭菜園が楽しめる1区画平均120坪ほどの宅地を坪単価1万円で分譲しています。
(担当課：施設課)

的にも珍しいワイナリーで、山方面の湯ノ岱地区にある旧湯ノ岱小学校をリノベーションして2022年1月に開業しました。現在醸造しているワインには国産のブドウを使用していますが、将来的には町内産のブドウによるワインの醸造を目指しています。製造したワインは施設内のワイナリーショップで購入できます。

◆ちよつと暮らし住宅

定住を検討されている方を対象に、海方面にある石崎地区にちよつと暮らし住宅を1棟整備しています。

サテライトオフィスには開放感とぬくもりのあるフリースペース、ブルーームがあり、ワーケーション施設として利用することも可能です。



◆上ノ国ワイナリー&サテライトオフィス
宿泊施設をもった全国

ふるさと納税

町では、ふるさと納税の寄附金を財源として各種事業を推進し、寄附者の上ノ国町に対する思いの実現化や人々が個性豊かな活力あるまちづくりに参加することを目的に、「上ノ国町ふるさと寄附条例」を制定しています。

◆ふるさと納税の使い道

寄附金は、まちづくりの貴重な財源として産業振興や医療・福祉の増進、地域づくりなどの各種事業に活用させていただきます。

◆ご寄附への返礼品

ご寄附いただいた方には、一番人気の「アスパラガス」をはじめ、ウニやフルーツポークなど上ノ国町の特産品をお選びいただき、返礼品としてお贈りしています。



◆ご興味のある皆様へ

詳しくは、上ノ国町ホームページをご覧ください。
(URL) → <https://www.town.kaminokuni.lg.jp/hotnews/detail/0000139.html>
上ノ国町より良いまちづくりに皆様のご支援をよろしく願っています。
(担当課：総務課)

「天の川が流れる子育てに 優しいまち上ノ国町」

観光スポット

◆夷王山
標高159mの山頂には、夷王山神社があり、上ノ国市街はもちろん、日本海に浮かぶ奥尻島や大島、熊石方向へ延びる美しい海岸線が一望できます。

◆道の駅上ノ国もんじゅ
海に面した道の駅で、風を感じながら美しい景色を見ることが出来ます。ここでの景観は、雑誌『北海道ウォーカー』の絶景感動部門で金賞を受賞しています。



◆神の道
道の駅周辺の中世の岬公園にある遊歩道を下に降りると、階段のようになった岩の先に鳥居が見えてきます。これは、龍神が龍燈となつて通つたという伝説のある「神の道」と呼ばれています。満天の星空とともに見る神の道は、天への階段のような情景で、岩窓から見る夕陽も絶景です。



◆まんまる桜
山方面に向かい、天の川たせ湯があり、長湯をした方は特におすすめてです。



JR江差線廃線後、上ノ国の新名所となることを願う同会の方たちを中心に、道路脇の樹木の伐採や旧JR江差線の枕木を活用した

す。

◆夜明けの塔
開基800年を記念して夷王山にある八幡牧野の丘陵地・中世の丘に造られた町のシンボルタワーです。現在、上ノ国町観光協会では夷王山整備事業の一環として、『夜明けの塔レインボープロジェクト』を始動し、夜明けの塔から眺める景色に彩りを添える花畑の整備を進めています。

す。

◆文化財
上ノ国町は、国指定史跡の史跡上之国館跡(花沢館跡、勝山館跡、洲崎館跡)をはじめとし、国指定重要文化財の上國寺本堂や旧笹浪家住宅、北海道指定有形文化財の上ノ国八幡宮本殿や円空仏(十一面観音立像)、史跡からの出土品など、中世の歴史遺産を多く保有する歴史ある町です。上ノ国町国民温泉保養センター(通称「湯ノ岱温泉」)は、市街地から離れた山方面の湯ノ岱地区の一角にある炭酸泉の珍しい温泉です。3種類の温度(35℃、38℃、42℃)の内風呂と

◆温泉
町内には2か所の温泉があります。「花沢温泉」は2017年にリニューアルオープンした市街地に近い温泉です。大きめの内風呂と小さな露天風呂が楽しめる温泉で、町民の憩いの場として親しまれています。

きららトンネルを抜けて右階段の取り付けなどの整備手側にはぼつんと一本桜の木があります。開花時期に満開になると、球体のように可愛らしく咲くことから、「湯ノ岱町内会が「まんまる桜」という愛称をつけました。

階段の取り付けなどの整備

◆夜明けの塔
開基800年を記念して夷王山にある八幡牧野の丘陵地・中世の丘に造られた町のシンボルタワーです。現在、上ノ国町観光協会では夷王山整備事業の一環として、『夜明けの塔レインボープロジェクト』を始動し、夜明けの塔から眺める景色に彩りを添える花畑の整備を進めています。

◆温泉
町内には2か所の温泉があります。「花沢温泉」は2017年にリニューアルオープンした市街地に近い温泉です。大きめの内風呂と小さな露天風呂が楽しめる温泉で、町民の憩いの場として親しまれています。

上ノ国町へのアクセス

URL : <https://www.town.kaminokuni.lg.jp/hotnews/detail/00001811.html>

年間の公益事業・行事など

新年交礼会開催（1月 有料）

北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン
 「千島桜」シンボルバッジキャンペーン
 「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン
 「ふるさと納税推進」キャンペーンなどの年初スタートを実施。

「北方領土返還要求全国大会」に参加（2月7日 北方領土の日）

「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加（12月1日）

交流の夕べを開催（8月4日前後 有料）

キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。

交流イベント「We Love Hokkaido」の開催（旧道産子の会、10月 有料）

北海道関係者、北海道ファン、一般参加者2～300名、有料
 キャンペーン、公益事業の広報、地域活性化イベントなどを実施。

講演会、シンポジウムの開催（無料）

当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般の参加歓迎（講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、一般参加を呼びかける。）

情報紙「北海道“NOW”」の発行・配布

倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道“NOW”」本紙・増刊号（年11回）を発行。一般配布（有料 月額80円）有り。

「北海道の市と町と村をご紹介（WEB版）」の発行・配布

本誌

北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月、無料）

ホームページで倶楽部公益事業を広報（適時）

その他

倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・会計、北星会（ゴルフ））



「摩周湖」（弟子屈町）



入会希望の方は定款 ([HP](#) にあります) をご了承の上、
下記申込書を A4 にコピーし、ご記入の上郵送下さい。

入会案内のページ

上記ページを参照し、ホームページ上からも、各申込書のダウンロード及び入力送信が出来ます。(QR コードを読みとるかクリックも可)

正会員の入会申込後、直近の理事会での入会承認後、入会のご連絡と入会金(5千円)年会費(15千円)納入のお願いを差し上げます。

公益社団法人北海道倶楽部

正会員

入会申込書 登録事項変更申込書

申込年月日 令和 年 月 日		印
ふりがな		
氏名		
生年月日 大 昭 平 年 月 日		
新規登録、変更は下記に記入/会員抹消は氏名のみ記入		
連絡先は <input type="checkbox"/> 勤務先・ <input type="checkbox"/> 自宅とします。 会報、郵送物の送付先を指定。(左記 <input type="checkbox"/> にチェック)		
勤務先	会社名(ふりがな)	
	役職名	
	住所 〒()	
	電話	FAX
	業種	
連絡用mail @		
自宅 <small>はチェック 名簿非掲載希望</small>	住所 〒()	
	電話	FAX
出身地	市町村	最終学校
北海道との関係		
関心分野	支援 <input type="checkbox"/> 総務 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 北方領土返還 <input type="checkbox"/> 地域活性化・ふるさと納税 <input type="checkbox"/> 新幹線延伸	
	事業 <input type="checkbox"/> 新年交礼会 <input type="checkbox"/> 交流の夕べ <input type="checkbox"/> 北海道フェア <input type="checkbox"/> 交流イベント	
趣味 <input type="checkbox"/> ゴルフ <input type="checkbox"/> 囲碁 その他()		
紹介会員 (1)		(2)